

. 一般向け調査集計結果

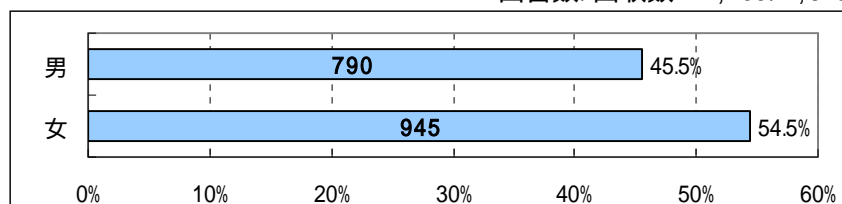
一般向け調査集計結果

1. 回答者の属性

問1 はじめに、あなた自身のことについておたずねします。あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。

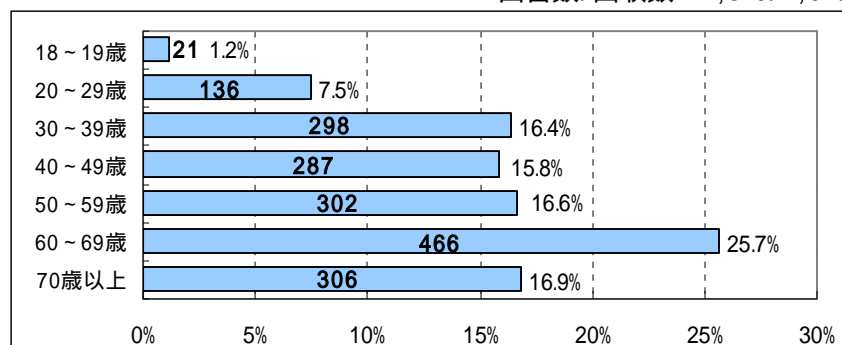
(1) 性別について (SA)

回答数/回収数 1,735/1,825



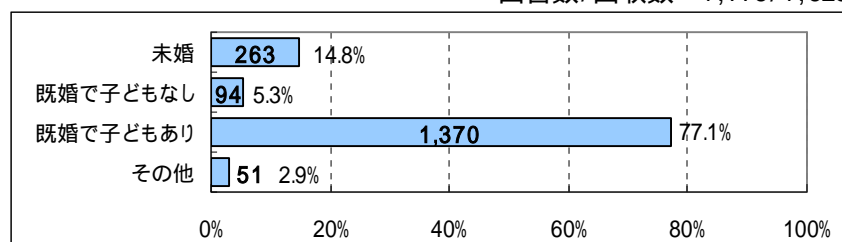
(2) 年齢について (SA)

回答数/回収数 1,816/1,825



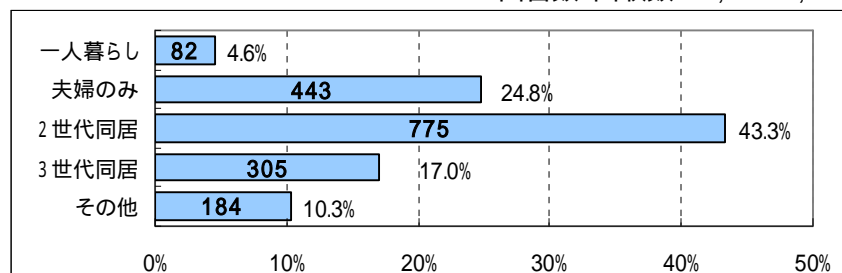
(3) 婚姻状況について (SA)

回答数/回収数 1,778/1,825



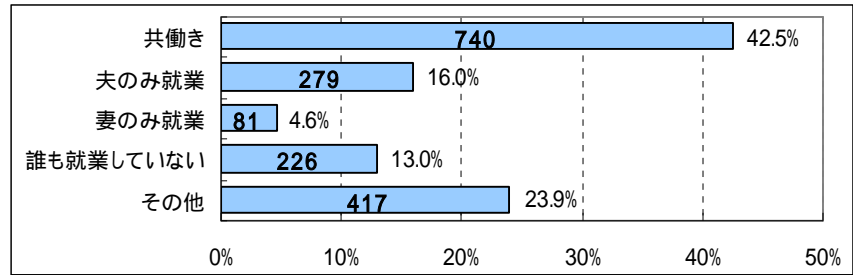
(4) 同居の家族について (SA)

回答数/回収数 1,789/1,825



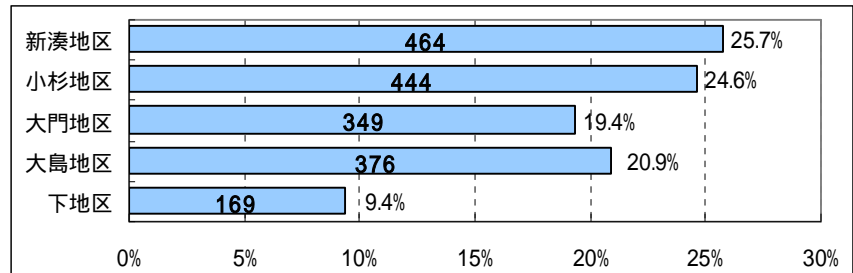
(5) 就業状態について (SA)

回答数/回収数 1,743/1,825



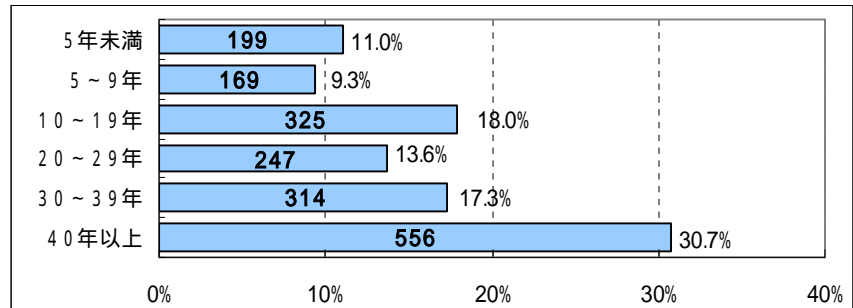
(6) お住まいについて (SA)

回答数/回収数 1,802/1,825



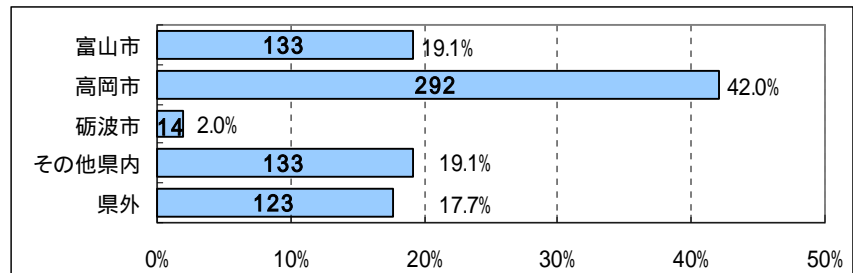
(7) 現住所にお住まいの期間について (SA)

回答数/回収数 1,810/1,825



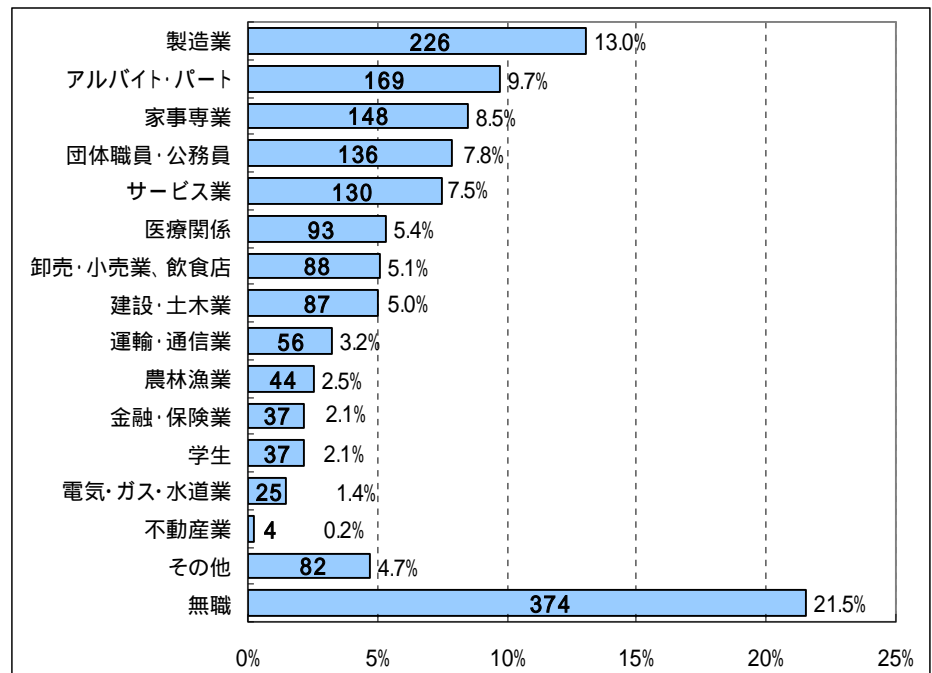
(8) 他市町村から転入された方はその地域について (SA)

回答数/回収数 695/1,825



(9) 職業について (SA)

回答数/回収数 1,736/1,825

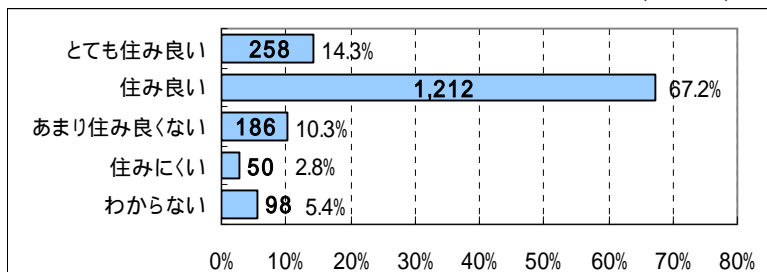


2. 射水市の住み心地と定住意向

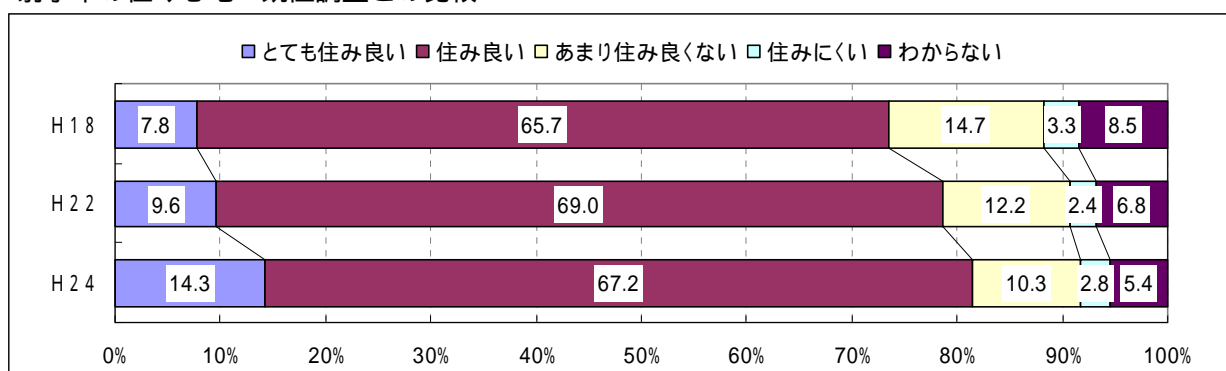
問2 あなたにとって射水市の住み心地はどうか。次のうちあてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,804/1,825

射水市の住み心地について現在の満足度を把握するとともに、前回調査(平成22年6月実施 以下略)及び前々回調査(平成18年7月実施 以下略)の結果と比較することで、市民意識の変化を把握した。



射水市の住み心地 / 既往調査との比較



< 集計結果 >

「住み良い」が67.2%と最も高く、次いで「とても住み良い」(14.3%)、「あまり住み良くない」(10.3%)、「住みにくい」(2.8%)となった。「とても住み良い」と「住み良い」を合わせると8割以上の回答が得られている。

< 既往調査との比較 >

「とても住み良い」が14.3%と、前回(9.6%)、前々回(7.8%)を上回る結果となり、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合でも81.5%と、前回(78.6%)、前々回(73.5%)を上回っている。一方、「あまり住み良くない」と「住みにくい」を合わせると13.1%であり、前回(14.6%)、前々回(18.0%)を下回っていることから、住み心地に対する満足度は総じて高くなったといえる。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合は、40歳代が83.8%で最も高く、次いで30歳代(82.8%)、20歳代(82.6%)となり、18~19歳が66.7%と他の年代を大きく下回っている。

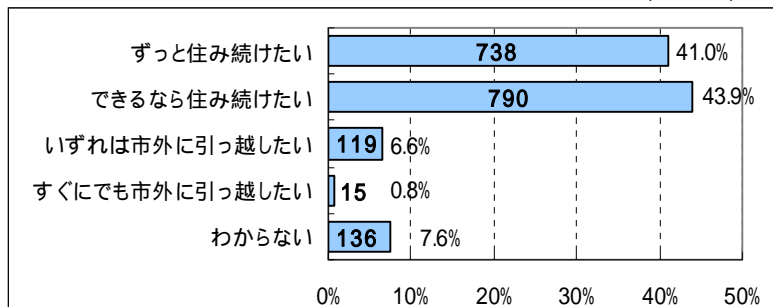
地区別で集計すると、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合は、大島地区が88.2%、小杉地区が87.0%と他の地区より高くなっており、また、「あまり住み良くない」と「住みにくい」を合わせた割合は、新湊地区が21.3%、下地区が18.1%と他の地区より高くなっている。

居住年数別に集計すると、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合は全体的に同様の傾向であったが、「とても住み良い」は居住年数が長くなるに従って低くなる傾向に、また、「住み良い」は居住年数が長くなるに従って高くなる傾向にあった。

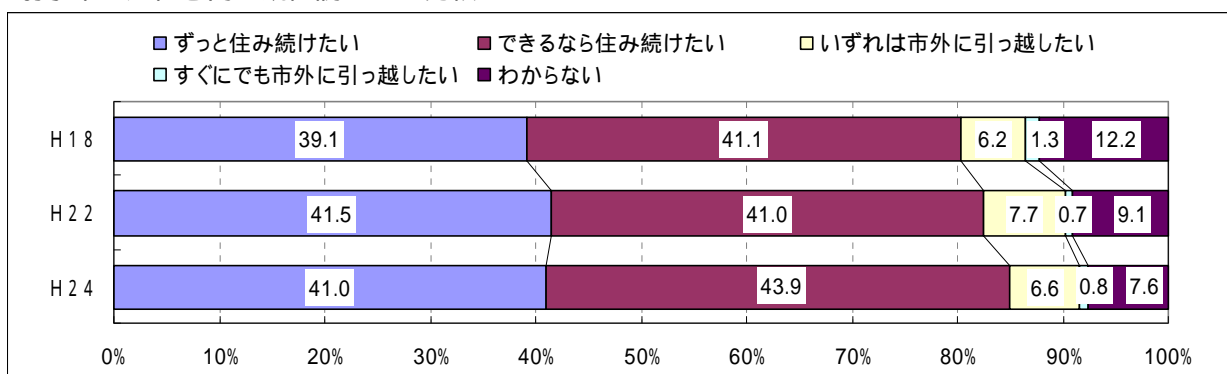
問3 あなたは、今後も射水市に住み続けたいと思いますか。次のうちあてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,798/1,825

射水市での定住意向について、現在の意向を把握するとともに、前回調査及び前々回調査の結果と比較することで、意向の変化を把握した。



射水市の定住意向 / 既往調査との比較



<集計結果>

「できるなら住み続けたい」が43.9%と最も高く、「ずっと住み続けたい」(41.0%)と合わせると8割以上の回答が得られている。

また、問2の結果と重ねると、「とても住み良い」と「住み良い」を選択した人の9割以上、「あまり住み良くない」を選択した人の5割以上が、「ずっと住み続けたい」または「できるなら住み続けたい」を選択している。

<既往調査との比較>

「ずっと住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」を合わせた割合は84.9%であり、前回(82.5%)、前々回(80.2%)を上回る結果となっている。「すぐにも市外に引っ越したい」と「いずれは市外に引っ越したい」を合わせた割合はほぼ差が無く、また、「わからない」が7.6%であり、前回(9.1%)、前々回(12.2%)より下回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、「ずっと住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」を合わせた割合は、70歳以上が91.3%で最も高く、年代が下がるに従い低くなる傾向にあった。

地区別で集計すると、「ずっと住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」を合わせた割合は、最も高い大島地区(89.0%)から最も低い新湊地区(80.0%)まで、大きな差はみられなかったが、新湊地区、小杉地区では「ずっと住み続けたい」より「できるなら住み続けたい」の方がやや高くなっている。

居住年数別に集計すると、「ずっと住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」を合わせた割合は、10~19年(77.0%)と20~29年(78.9%)で80%を下回ったが、30~39年(89.5%)、40年以上(90.7%)で比較的高くなり、居住年数が10年を超え一旦低下した定住意向が30年を超えてから再び高くなる結果となった。

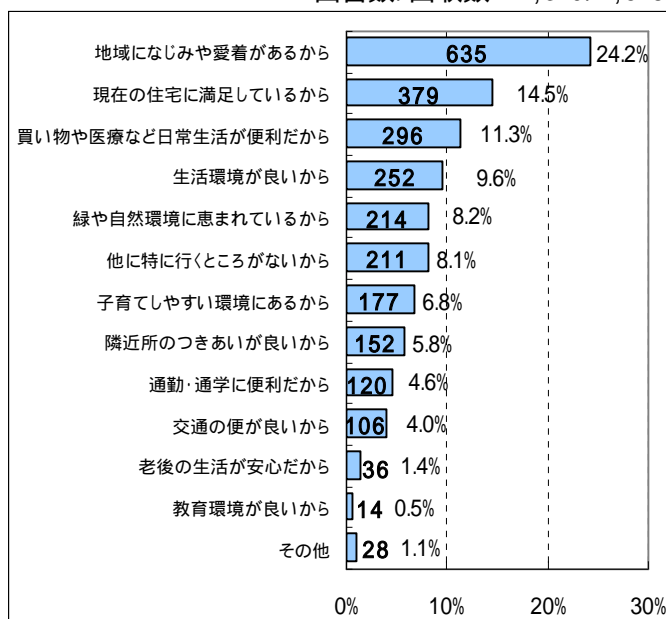
問4 問3で「1(ずっと住みたい)」あるいは「2(できるなら住みたい)」を選んだ方にお聞きします。射水市に住みたい主な理由は何ですか。次のうちあてはまるものを2つ選んで番号に印をつけてください。(MA)【限定設問】

回答数/回収数 1,310/1,528

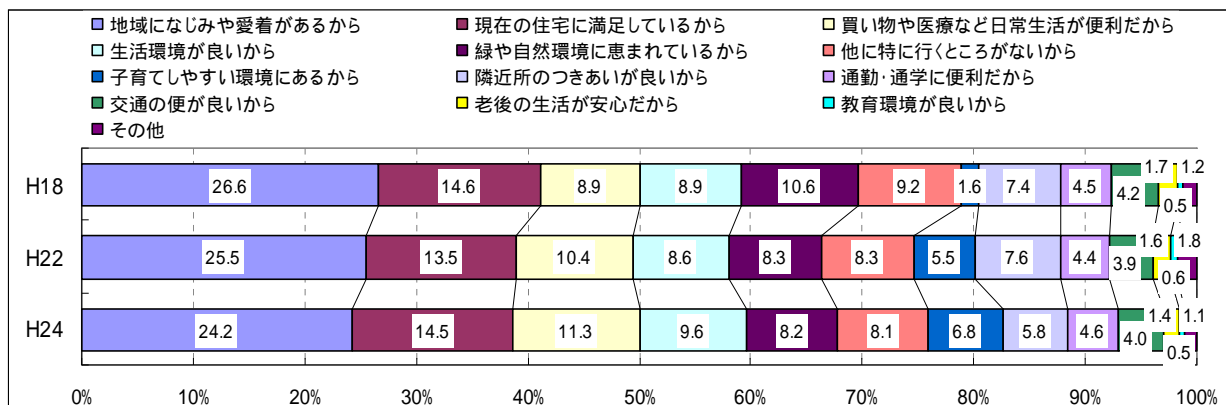
<集計結果>

「地域になじみや愛着があるから」が24.2%と最も高く、次いで「現在の住宅に満足しているから」(14.5%)、「買い物や医療など日常生活が便利だから」(11.3%)と続く結果となった。地域や現在の住まいへの愛着と日常生活における利便性の良さなどが、定住意向に寄与していることがうかがえる。

問2の結果と重ねた場合、「他にに行くところがないから」を理由として選んだ人は、「住み良い」では7.7%であるのに対し、「とても住み良い」では0.9%であり、住み良さの度合によって住みたい理由の傾向に違いがみられた。



住みたい理由 / 既往調査との比較



<既往調査との比較>

前回と今回調査の間では項目ごとにわずかな増減はあるものの、全体に同様の傾向であった。前回と前々回調査の間では、前回調査の「子育てしやすい環境にあるから」の割合が高くなっている。

<属性による比較>

性別で集計すると、項目ごとに増減はあるものの、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、特に「買い物や医療など日常生活が便利だから」については、20歳代及び50歳代以上で割合が高くなる傾向に、「子育てしやすい環境にあるから」については、20~40歳代で高く、18~19歳代及び50歳代以上で低くなる傾向に、「通勤・通学に便利だから」については、60歳代以上で低くなる傾向になるなど、ライフステージに関わる理由で年代ごとの違いがみられた。

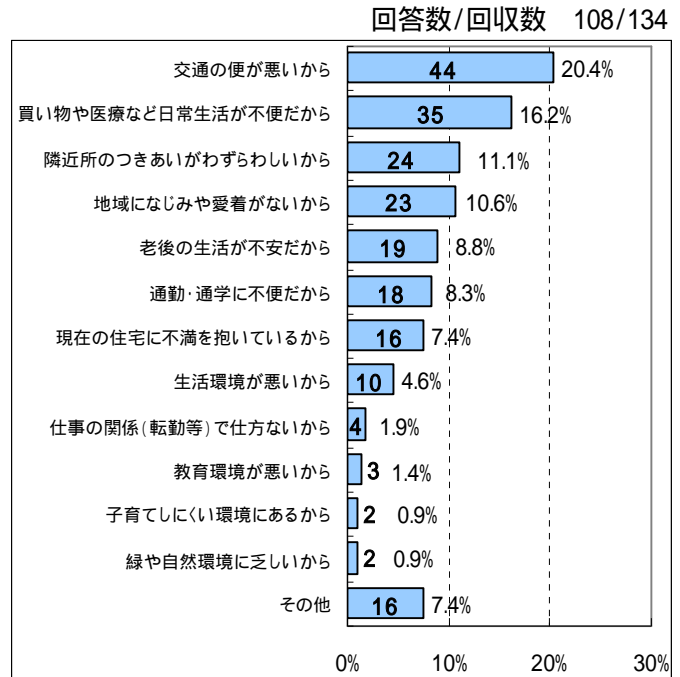
地区別で集計すると、各地区で最も割合が高い「地域になじみや愛着があるから」については、新湊地区(33.2%)と下地区(28.2%)が、小杉地区(20.1%)、大門地区(21.1%)、大島地区(20.8%)を上回る結果となった。また、下地区では、「買物や医療など日常生活が便利だから」と「交通の便が良いから」の割合が他の地区と比べてそれぞれ低い結果となった。

問5 問3で「3(いずれは市外に引っ越したい)」あるいは「4(すぐにも市外に引っ越したい)」を選んだ方にお聞きします。射水市以外に引っ越したい主な理由は何ですか。次のうちあてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)【限定設問】

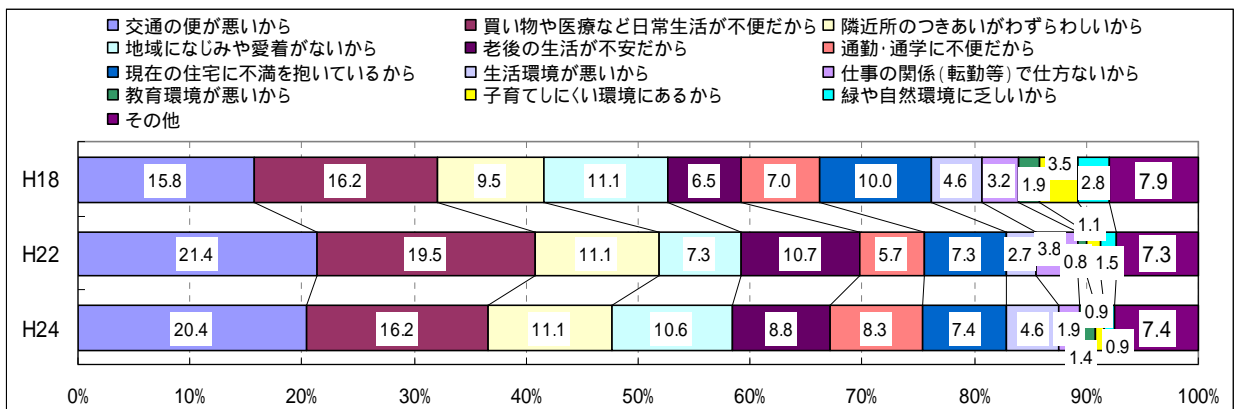
<集計結果>

「交通の便が悪いから」が20.4%と最も高く、次いで「買い物や医療など日常生活が不便だから」(16.2%)、「隣近所のつきあいがわずらわしいから」(11.1%)、「地域になじみや愛着がないから」(10.6%)と続く結果となった。交通の便や買い物など、日常生活の不便さなどが、定住意向を損なう要因であることがうかがえる。

問2の結果と重ねた場合、「交通の便が悪いから」を理由として選んだ人は、「あまり住み良くない」では17.1%であるのに対し、「住みにくい」では32.0%であり、住みにくさの度合により引っ越したい理由の傾向に違いがみられた。



引っ越したい理由/既往調査との比較



<既往調査との比較>

前回と今回調査の間では項目ごとにわずかな増減はあるものの、全体に同様の傾向であった。前回と前々回調査の間では、前回調査の「交通の便が悪いから」の割合が高くなっている。

<属性による比較>

性別で集計すると、「老後の生活が不安だから」の割合は、女性(24.1%)が男性(11.5%)を大きく上回っており、「地域になじみや愛着がないから」では、男性(26.9%)が女性(16.7%)を大きく上回っている。

年代別で集計すると、20歳代から50歳代までは、「交通の便が悪いから」の割合が最も高く、項目ごとに差はあるものの、全体の傾向も同様であった。

地区別で集計すると、新湊地区と小杉地区では、「交通の便が悪いから」の割合が最も高く、全体の傾向も同様であった。また、大門地区では「隣近所のつきあいがわずらわしいから」、大島地区では「現在の住宅に不満を抱いているから」、下地区では「買い物や医療など日常生活が不便だから」の割合がそれぞれ最も高く、その他の項目でも地区ごとに異なる傾向となった。

3. 施策に対する満足度と重要度

3 - 1 . 単純集計

問6 射水市総合計画では、5つのまちづくりの基本方針のもと54の施策を掲げまちづくりを推進しています。それぞれの満足度と重要度について、あなたのお考えに一番近いものを1つ選んで番号に印をつけてください。

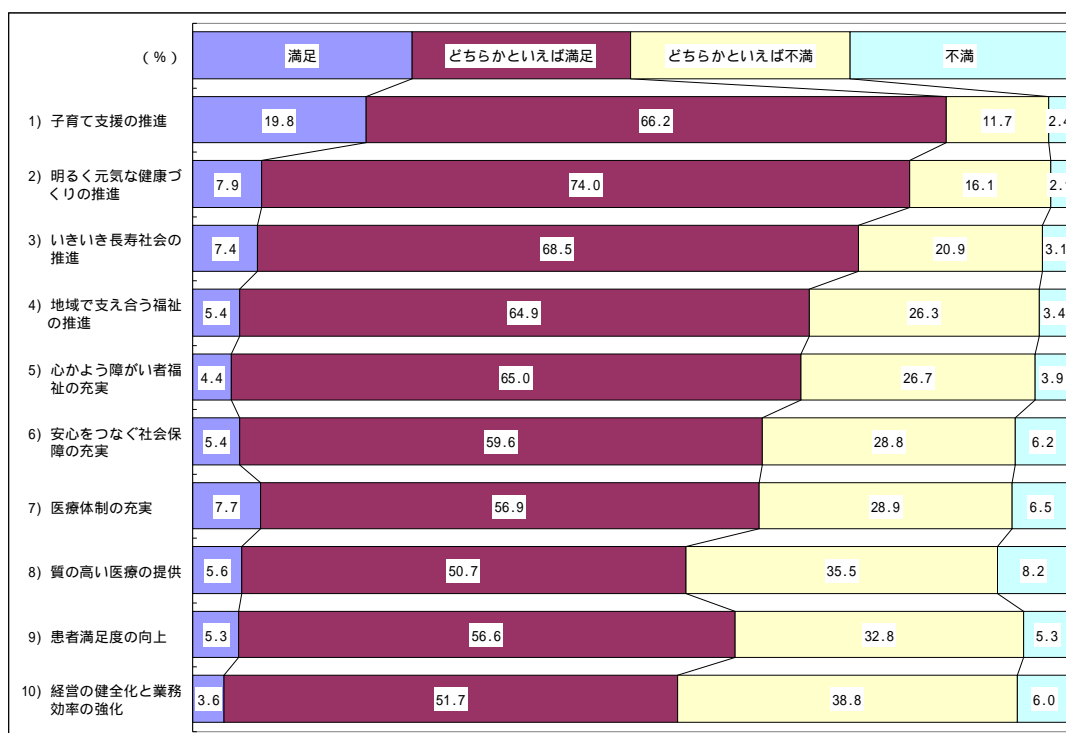
(1) 健康でやさしさあふれるまち (SA)

< 満足度 >

『健康でやさしさあふれるまち』の各施策について、「満足している」の割合が最も高いのは「子育て支援の推進」(19.8%)で、「明るく元気な健康づくりの推進」、「医療体制の充実」と続く結果となった。特に、「子育て支援の推進」については、54施策で最も高い結果となった。また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が最も高いのは「子育て支援の推進」(86.0%)で、「明るく元気な健康づくりの推進」、「いきいき長寿社会の推進」と続く結果となった。

当該施策については、全体的に「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合が低い傾向もみられた。

施策の分野	回答数合計	満足している		どちらかといえば満足		どちらかといえば不満		不満である	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1) 子育て支援の推進	1,634	323	19.8	1,081	66.2	191	11.7	39	2.4
2) 明るく元気な健康づくりの推進	1,663	131	7.9	1,230	74.0	267	16.1	35	2.1
3) いきいき長寿社会の推進	1,666	123	7.4	1,142	68.5	349	20.9	52	3.1
4) 地域で支え合う福祉の推進	1,634	89	5.4	1,061	64.9	429	26.3	55	3.4
5) 心かよう障がい者福祉の充実	1,608	71	4.4	1,045	65.0	429	26.7	63	3.9
6) 安心をつなぐ社会保障の充実	1,641	88	5.4	978	59.6	473	28.8	102	6.2
7) 医療体制の充実	1,667	129	7.7	948	56.9	482	28.9	108	6.5
8) 質の高い医療の提供	1,653	93	5.6	838	50.7	587	35.5	135	8.2
9) 患者満足度の向上	1,638	87	5.3	927	56.6	537	32.8	87	5.3
10) 経営の健全化と業務効率の強化	1,620	58	3.6	837	51.7	628	38.8	97	6.0

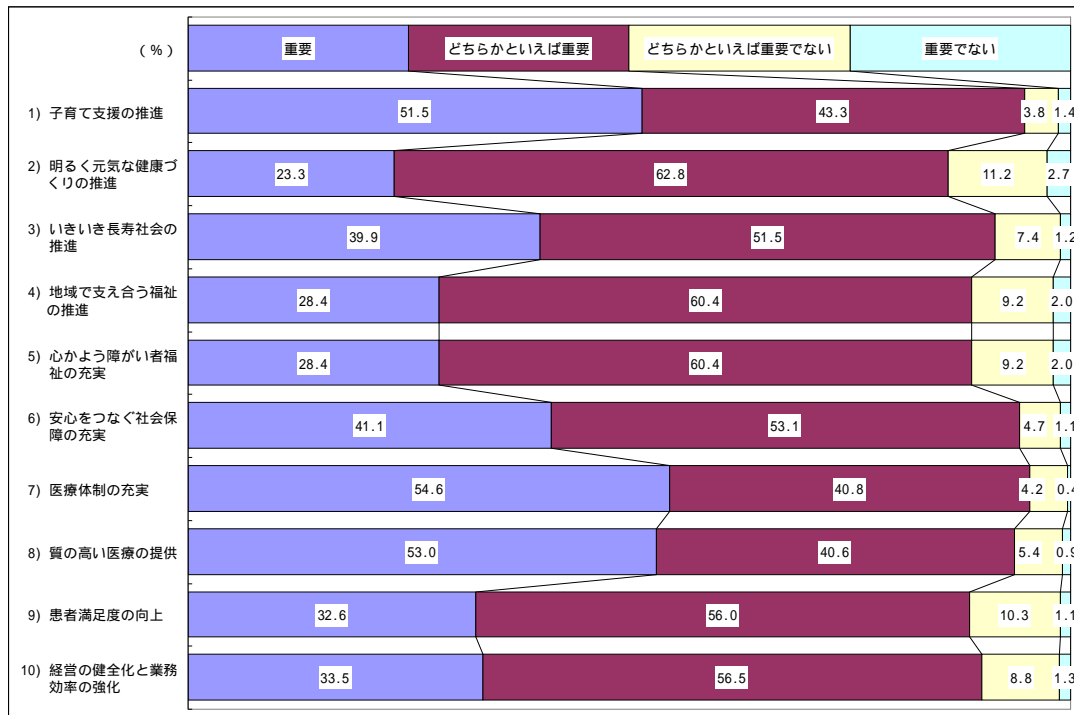


< 重要度 >

『健康でやさしさあふれるまち』の各施策について、「重要である」の割合が最も高いのは「医療体制の充実」(54.6%)で、「質の高い医療の提供」、「子育て支援の推進」と続く結果となった。特に、これらについては、54 施策の中でも上位 3 施策となっている。また、「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が最も高いのは、「医療体制の充実」(95.4%)で、「子育て支援の推進」、「安心をつなぐ社会保障の充実」と続く結果となった。

当該施策については、全体的に「重要ではない」と「どちらかといえば重要ではない」を合わせた割合が低い傾向もみられた。

施策の分野	回答数合計	重要である		どちらかといえば重要である		どちらかといえば重要でない		重要でない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1) 子育て支援の推進	1,678	864	51.5	726	43.3	64	3.8	24	1.4
2) 明るく元気な健康づくりの推進	1,693	395	23.3	1,064	62.8	189	11.2	45	2.7
3) いきいき長寿社会の推進	1,701	678	39.9	876	51.5	126	7.4	21	1.2
4) 地域で支え合う福祉の推進	1,680	477	28.4	1,014	60.4	155	9.2	34	2.0
5) 心かよう障がい者福祉の充実	1,680	477	28.4	1,014	60.4	155	9.2	34	2.0
6) 安心をつなぐ社会保障の充実	1,686	693	41.1	895	53.1	80	4.7	18	1.1
7) 医療体制の充実	1,697	927	54.6	693	40.8	71	4.2	6	0.4
8) 質の高い医療の提供	1,695	899	53.0	689	40.6	91	5.4	16	0.9
9) 患者満足度の向上	1,673	546	32.6	937	56.0	172	10.3	18	1.1
10) 経営の健全化と業務効率の強化	1,663	557	33.5	939	56.5	146	8.8	21	1.3



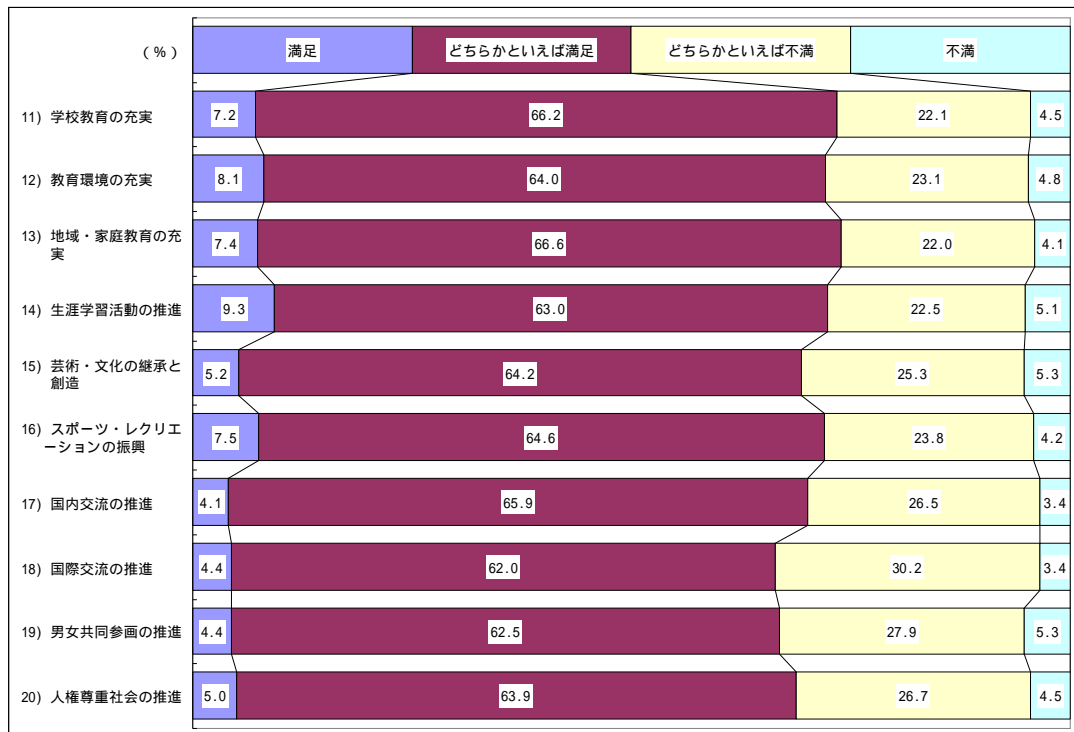
(2) だれもがいきいきと輝くまち (SA)

< 満足度 >

『だれもがいきいきと輝くまち』の各施策について、「満足している」の割合が最も高いのは「生涯学習活動の推進」(9.3%)で、「教育環境の充実」,「スポーツ・レクリエーションの振興」と続く結果となった。特に、「生涯学習活動の推進」については、54 施策の中で4 番目に高い結果となった。また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が最も高いのは「地域・家庭教育の充実」(74.0%)で、「学校教育の充実」,「生涯学習活動の推進」と続く結果となった。

当該施策については、全体的に「不満である」と「どちらかという不満である」を合わせた割合が低い傾向もみられた。

施策の分野	回答数合計	満足している		どちらかといえば満足している		どちらかという不満である		不満である	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
11) 学校教育の充実	1,614	116	7.2	1,069	66.2	357	22.1	72	4.5
12) 教育環境の充実	1,616	131	8.1	1,034	64.0	373	23.1	78	4.8
13) 地域・家庭教育の充実	1,603	118	7.4	1,068	66.6	352	22.0	65	4.1
14) 生涯学習活動の推進	1,641	153	9.3	1,034	63.0	370	22.5	84	5.1
15) 芸術・文化の継承と創造	1,630	85	5.2	1,046	64.2	412	25.3	87	5.3
16) スポーツ・レクリエーションの振興	1,633	122	7.5	1,055	64.6	388	23.8	68	4.2
17) 国内交流の推進	1,573	65	4.1	1,037	65.9	417	26.5	54	3.4
18) 国際交流の推進	1,570	69	4.4	973	62.0	474	30.2	54	3.4
19) 男女共同参画の推進	1,596	70	4.4	997	62.5	445	27.9	84	5.3
20) 人権尊重社会の推進	1,593	79	5.0	1,018	63.9	425	26.7	71	4.5

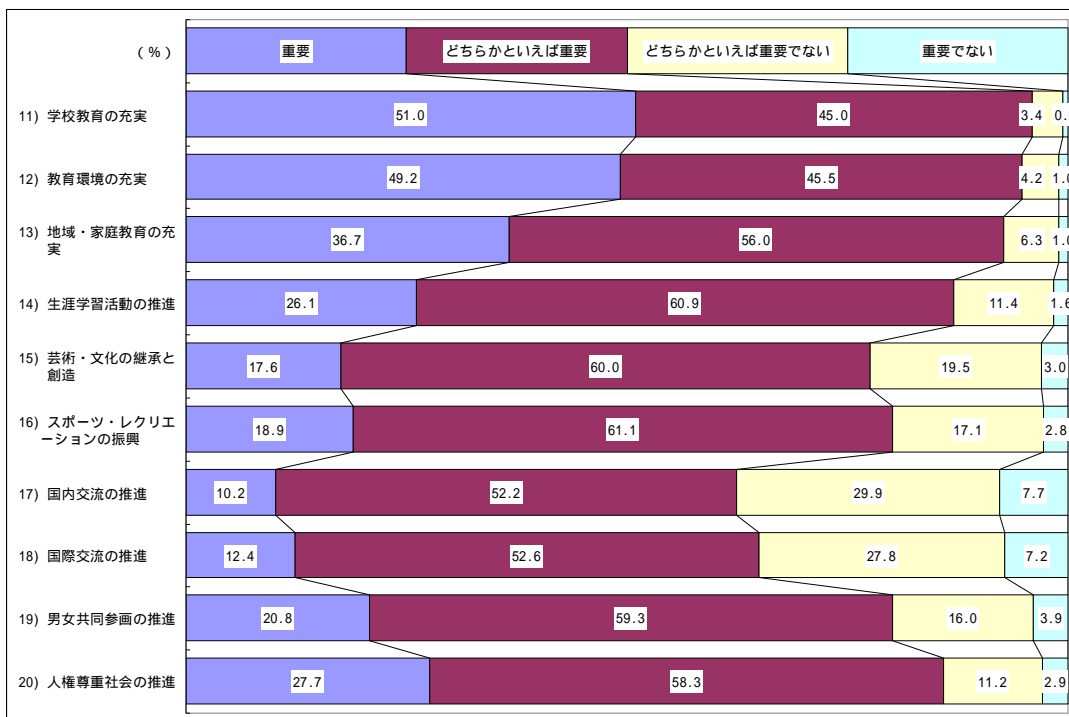


< 重要度 >

『だれもがいきいきと輝くまち』の各施策について、「重要である」の割合が最も高いのは「学校教育の充実」(51.0%)で、「教育環境の充実」、「地域・家庭教育の充実」と続く結果となった。なお、「学校教育の充実」については、54 施策の中で5 番目に高い結果となった。また、「重要である」と「どちらかという重要である」を合わせた割合が最も高いのは「学校教育の充実」(96.0%)で、「教育環境の充実」、「地域・家庭教育の充実」と続く結果となった。

「重要ではない」の割合が最も高いのは「国内交流の推進」(7.7%)で、「国際交流の推進」、「男女共同参画の推進」と続く結果となった。特に、「国内交流の推進」については54 施策の中で最も割合が高く、「国際交流の推進」については3 番目に高い結果となった。また、「重要ではない」と「どちらかといえば重要でない」を合わせた割合が最も高いのは「国内交流の推進」(37.6%)で、「国際交流の推進」、「芸術・文化の継承と創造」と続く結果となった。

施策の分野	回答数合計	重要である		どちらかといえば重要		どちらかといえば重要でない		重要でない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
11) 学校教育の充実	1,676	854	51.0	755	45.0	57	3.4	10	0.6
12) 教育環境の充実	1,678	826	49.2	764	45.5	71	4.2	17	1.0
13) 地域・家庭教育の充実	1,660	610	36.7	929	56.0	104	6.3	17	1.0
14) 生涯学習活動の推進	1,685	440	26.1	1,026	60.9	192	11.4	27	1.6
15) 芸術・文化の継承と創造	1,675	294	17.6	1,005	60.0	326	19.5	50	3.0
16) スポーツ・レクリエーションの振興	1,673	317	18.9	1,023	61.1	286	17.1	47	2.8
17) 国内交流の推進	1,643	168	10.2	857	52.2	491	29.9	127	7.7
18) 国際交流の推進	1,644	204	12.4	865	52.6	457	27.8	118	7.2
19) 男女共同参画の推進	1,659	345	20.8	983	59.3	266	16.0	65	3.9
20) 人権尊重社会の推進	1,663	460	27.7	969	58.3	186	11.2	48	2.9



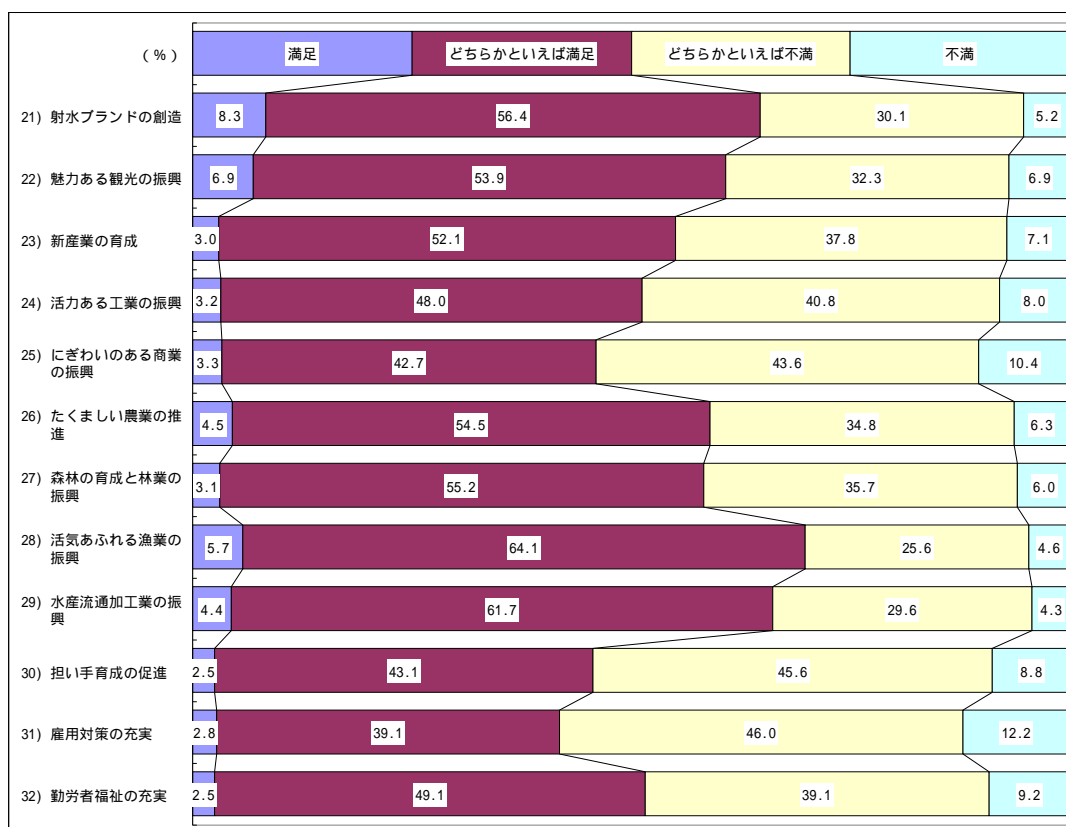
(3) 元気で活気あふれるまち (SA)

< 満足度 >

『元気で活気あふれるまち』の各施策については、全体的に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が低い傾向がみられた。

「不満である」の割合が最も高いのは「雇用対策の充実」(12.2%)で、「にぎわいのある商業の振興」、「勤労者福祉の充実」と続く結果となった。特に、「雇用対策の充実」については54施策の中で2番目、「にぎわいのある商業の振興」については4番目に高い結果となった。また、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合が最も高いのは「雇用対策の充実」(58.2%)で、「担い手育成の促進」、「にぎわいのある商業の振興」、「活力ある工業の振興」、「勤労者福祉の充実」と続く結果となった。特に、これらについては、54施策の中でも「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合が高い上位5施策ともなっている。

施策の分野	回答数合計	満足している		どちらかといえば満足		どちらかといえば不満		不満である	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
21) 射水ブランドの創造	1,666	138	8.3	940	56.4	502	30.1	86	5.2
22) 魅力ある観光の振興	1,659	115	6.9	894	53.9	536	32.3	114	6.9
23) 新産業の育成	1,607	48	3.0	837	52.1	608	37.8	114	7.1
24) 活力ある工業の振興	1,609	51	3.2	773	48.0	656	40.8	129	8.0
25) にぎわいのある商業の振興	1,625	53	3.3	694	42.7	709	43.6	169	10.4
26) たくましい農業の推進	1,610	72	4.5	877	54.5	560	34.8	101	6.3
27) 森林の育成と林業の振興	1,588	50	3.1	876	55.2	567	35.7	95	6.0
28) 活気あふれる漁業の振興	1,590	91	5.7	1,019	64.1	407	25.6	73	4.6
29) 水産流通加工業の振興	1,571	69	4.4	970	61.7	465	29.6	67	4.3
30) 担い手育成の促進	1,607	40	2.5	693	43.1	732	45.6	142	8.8
31) 雇用対策の充実	1,620	45	2.8	633	39.1	745	46.0	197	12.2
32) 勤労者福祉の充実	1,602	40	2.5	787	49.1	627	39.1	148	9.2

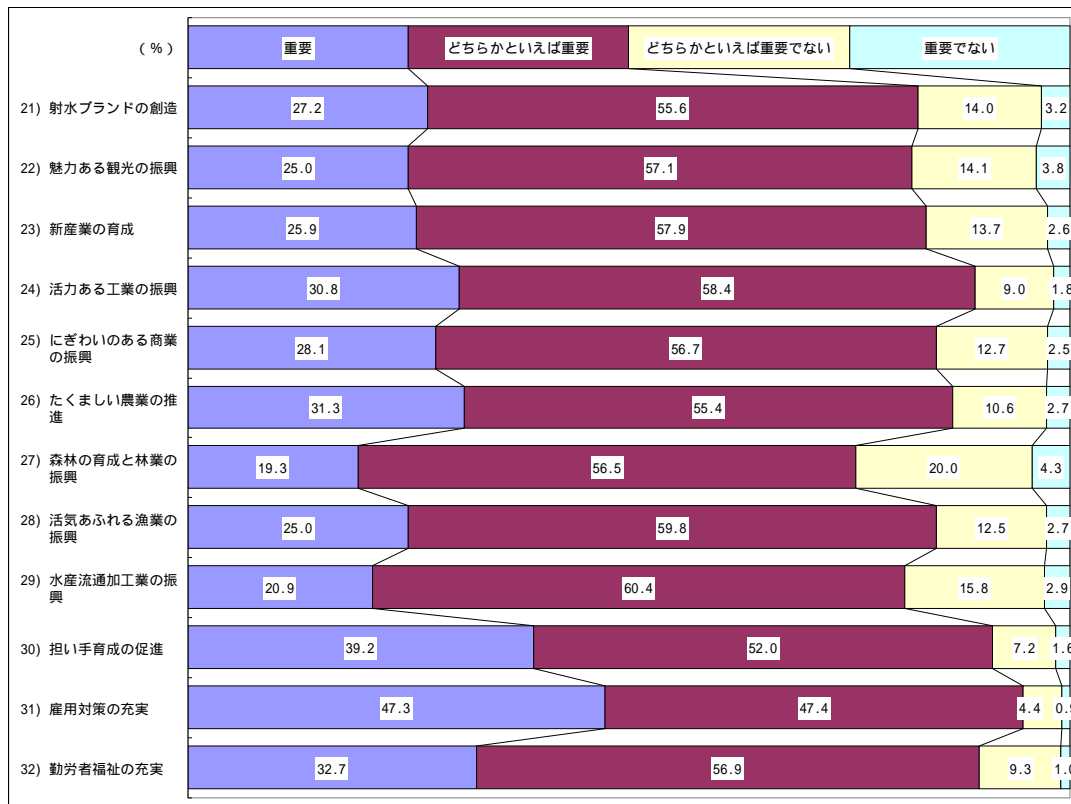


< 重要度 >

『元気で活気あふれるまち』の各施策について、「重要である」の割合が最も高いのは「雇用対策の充実」(47.3%)で、「担い手育成の促進」、「勤労者福祉の充実」と続く結果となった。また、「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高い施策についてもほぼ同様の傾向がみられた。

「重要ではない」の割合が最も高いのは「森林の育成と林業の振興」(4.3%)で、「魅力ある観光の振興」、「射水ブランドの創造」と続く結果となった。また、「重要ではない」と「どちらかといえば重要ではない」を合わせた割合が最も高いのは「森林の育成と林業の振興」(24.3%)で、「水産流通加工業の振興」、「魅力ある観光の振興」と続く結果となった。

施策の分野	回答数合計	重要である		どちらかといえば重要である		どちらかといえば重要ではない		重要ではない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
21) 射水ブランドの創造	1,682	458	27.2	935	55.6	236	14.0	53	3.2
22) 魅力ある観光の振興	1,675	419	25.0	956	57.1	237	14.1	63	3.8
23) 新産業の育成	1,646	426	25.9	953	57.9	225	13.7	42	2.6
24) 活力ある工業の振興	1,651	508	30.8	964	58.4	149	9.0	30	1.8
25) にぎわいのある商業の振興	1,660	467	28.1	942	56.7	210	12.7	41	2.5
26) たくましい農業の推進	1,656	519	31.3	917	55.4	176	10.6	44	2.7
27) 森林の育成と林業の振興	1,639	316	19.3	926	56.5	327	20.0	70	4.3
28) 活気あふれる漁業の振興	1,634	409	25.0	977	59.8	204	12.5	44	2.7
29) 水産流通加工業の振興	1,621	339	20.9	979	60.4	256	15.8	47	2.9
30) 担い手育成の促進	1,655	648	39.2	861	52.0	119	7.2	27	1.6
31) 雇用対策の充実	1,668	789	47.3	790	47.4	74	4.4	15	0.9
32) 勤労者福祉の充実	1,649	539	32.7	939	56.9	154	9.3	17	1.0



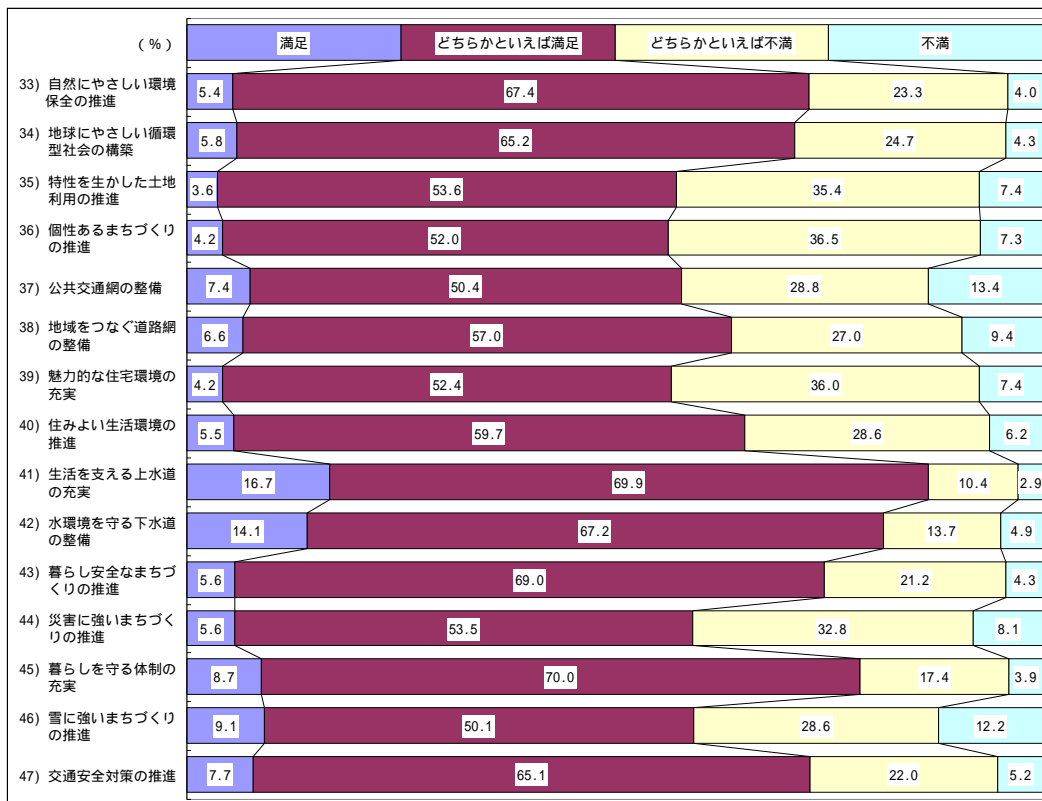
(4) 快適で安心して暮らせるまち (SA)

< 満足度 >

『快適で安心して暮らせるまち』の各施策について、「満足している」の割合が最も高いのは「生活を支える上水道の充実」(16.7%)で、「水環境を守る下水道の整備」、「雪に強いまちづくりの推進」と続く結果となった。これら3つの施策については、それぞれ54施策の中で「満足している」の割合が高い上位5施策のうちの一つともなっている。また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が最も高いのは「生活を支える上水道の充実」(86.6%)で、「水環境を守る下水道の整備」、「暮らしを守る体制の充実」と続く結果となった。

「不満である」の割合が最も高いのは「公共交通の整備」(13.4%)で、「雪に強いまちづくりの推進」、「地域をつなぐ道路網の整備」と続く結果となった。特に、「公共交通の整備」及び「雪に強いまちづくりの推進」については、54施策の中で「不満である」の割合が高い上位2施策ともなっている。

施策の分野	回答数合計	満 い 足 る し て		満 と ど い 足 る し え ら ば か		不 と ど 満 い ち で え ら ば か		不 満 で あ る	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
33) 自然にやさしい環境保全の推進	1,633	88	5.4	1,100	67.4	380	23.3	65	4.0
34) 地球にやさしい循環型社会の構築	1,643	96	5.8	1,072	65.2	405	24.7	70	4.3
35) 特性を生かした土地利用の推進	1,597	57	3.6	856	53.6	566	35.4	118	7.4
36) 個性あるまちづくりの推進	1,624	68	4.2	845	52.0	593	36.5	118	7.3
37) 公共交通網の整備	1,678	125	7.4	845	50.4	483	28.8	225	13.4
38) 地域をつなぐ道路網の整備	1,643	108	6.6	936	57.0	444	27.0	155	9.4
39) 魅力的な住宅環境の充実	1,627	68	4.2	852	52.4	586	36.0	121	7.4
40) 住みよい生活環境の推進	1,641	90	5.5	980	59.7	469	28.6	102	6.2
41) 生活を支える上水道の充実	1,666	279	16.7	1,165	69.9	173	10.4	49	2.9
42) 水環境を守る下水道の整備	1,661	234	14.1	1,117	67.2	228	13.7	82	4.9
43) 暮らし安全なまちづくりの推進	1,631	91	5.6	1,125	69.0	345	21.2	70	4.3
44) 災害に強いまちづくりの推進	1,647	93	5.6	881	53.5	540	32.8	133	8.1
45) 暮らしを守る体制の充実	1,650	143	8.7	1,155	70.0	287	17.4	65	3.9
46) 雪に強いまちづくりの推進	1,694	155	9.1	848	50.1	485	28.6	206	12.2
47) 交通安全対策の推進	1,659	128	7.7	1,080	65.1	365	22.0	86	5.2

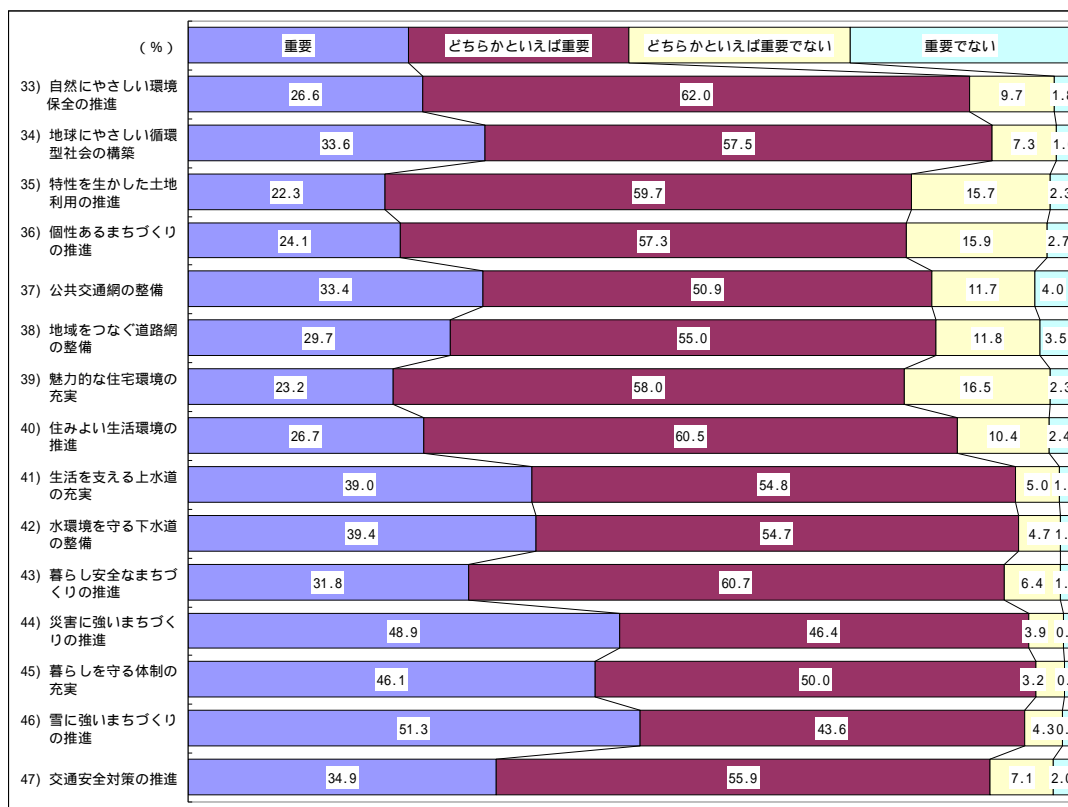


< 重要度 >

『快適で安心して暮らせるまち』の各施策について、「重要である」の割合が最も高いのは「雪に強いまちづくりの推進」(51.3%)で、「災害に強いまちづくりの推進」、「暮らしを守る体制の充実」と続く結果となった。なお、「雪に強いまちづくりの推進」については、54 施策の中で4 番目に高い結果となった。また、これら3 施策については、「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合も高く、それぞれ54 施策の中での割合が高い上位5 施策のうちの一つともなっている。

当該施策については、全体的に「重要ではない」と「どちらかといえば重要ではない」を合わせた割合が低い傾向もみられた。

施策の分野	回答数合計	重要である		どちらかといえば重要である		どちらかといえば重要でない		重要でない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
33) 自然にやさしい環境保全の推進	1,652	439	26.6	1,024	62.0	160	9.7	29	1.8
34) 地球にやさしい循環型社会の構築	1,667	560	33.6	959	57.5	122	7.3	26	1.6
35) 特性を生かした土地利用の推進	1,635	364	22.3	976	59.7	257	15.7	38	2.3
36) 個性あるまちづくりの推進	1,653	399	24.1	947	57.3	263	15.9	44	2.7
37) 公共交通網の整備	1,687	564	33.4	858	50.9	198	11.7	67	4.0
38) 地域をつなぐ道路網の整備	1,672	496	29.7	920	55.0	198	11.8	58	3.5
39) 魅力的な住宅環境の充実	1,661	385	23.2	963	58.0	274	16.5	39	2.3
40) 住みよい生活環境の推進	1,676	447	26.7	1,014	60.5	175	10.4	40	2.4
41) 生活を支える上水道の充実	1,673	653	39.0	916	54.8	83	5.0	21	1.3
42) 水環境を守る下水道の整備	1,668	657	39.4	912	54.7	79	4.7	20	1.2
43) 暮らし安全なまちづくりの推進	1,668	530	31.8	1,013	60.7	106	6.4	19	1.1
44) 災害に強いまちづくりの推進	1,688	825	48.9	783	46.4	66	3.9	14	0.8
45) 暮らしを守る体制の充実	1,678	774	46.1	839	50.0	54	3.2	11	0.7
46) 雪に強いまちづくりの推進	1,699	871	51.3	740	43.6	73	4.3	15	0.9
47) 交通安全対策の推進	1,674	585	34.9	936	55.9	119	7.1	34	2.0



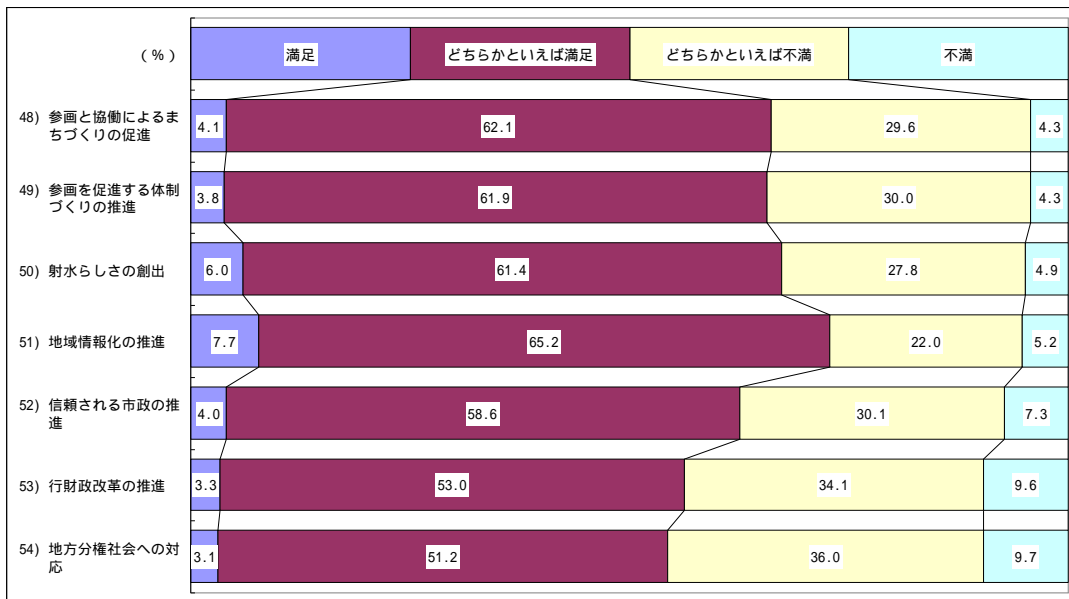
(5) みんなで創る ひらかれたまち (SA)

<満足度>

『みんなで創る ひらかれたまち』の各施策については、全体的に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が低い傾向がみられた。

「不満である」の割合が最も高いのは「地方分権社会への対応」(9.7%)で、「行財政改革の推進」、「信頼される市政の推進」と続く結果となった。また、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合が高い施策についても、ほぼ同様の傾向がみられる。

施策の分野	回答数合計	満足している		満足とどちらかといえば満足		不満とどちらかといえば不満		不満である	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
48) 参画と協働によるまちづくりの促進	1,597	66	4.1	991	62.1	472	29.6	68	4.3
49) 参画を促進する体制づくりの推進	1,594	61	3.8	987	61.9	478	30.0	68	4.3
50) 射水らしさの創出	1,624	97	6.0	997	61.4	451	27.8	79	4.9
51) 地域情報化の推進	1,627	125	7.7	1,060	65.2	358	22.0	84	5.2
52) 信頼される市政の推進	1,633	65	4.0	957	58.6	492	30.1	119	7.3
53) 行財政改革の推進	1,615	53	3.3	856	53.0	551	34.1	155	9.6
54) 地方分権社会への対応	1,604	49	3.1	821	51.2	578	36.0	156	9.7

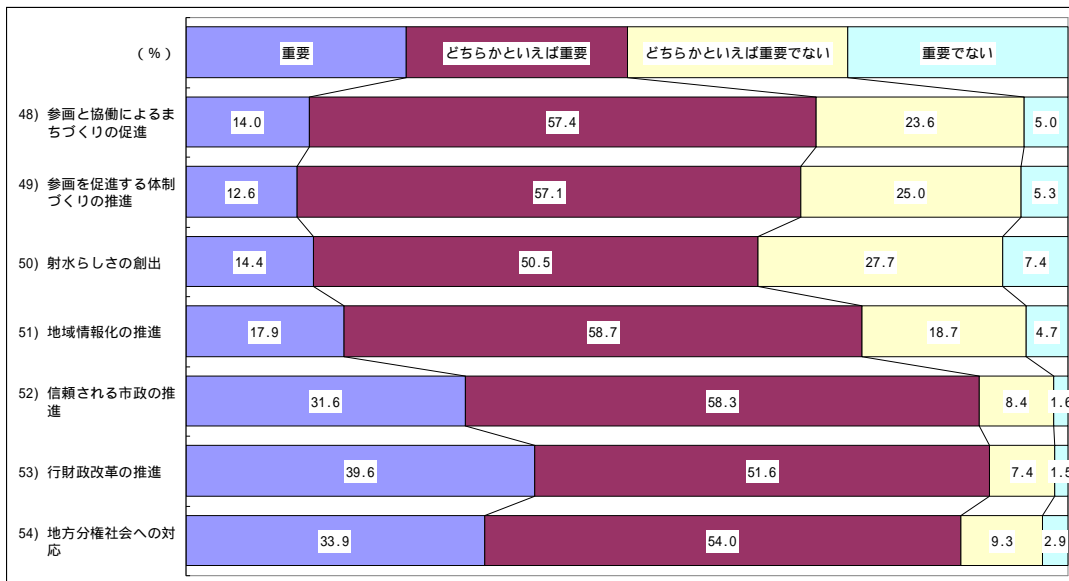


<重要度>

『みんなで創る ひらかれたまち』の各施策については、全体的に「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が低い傾向がみられた。

「重要ではない」の割合が最も高いのは「射水らしさの創出」(7.4%)で、「参画を促進する体制づくりの推進」、「参画と協働によるまちづくりの促進」と続く結果となった。これら3つの施策については、それぞれ54施策の中で「重要ではない」の割合が高い上位5施策の一つともなっている。また、「重要ではない」と「どちらかといえば重要ではない」を合わせた割合が高い施策についても、ほぼ同様の傾向がみられる。

施策の分野	回答数合計	重要である		重とど 重とど 重要い ち でえら あばか		重とど 重とど な い い でえら はばか		重 な い で は	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
48) 参画と協働によるまちづくりの促進	1,626	228	14.0	934	57.4	383	23.6	81	5.0
49) 参画を促進する体制づくりの推進	1,629	206	12.6	930	57.1	407	25.0	86	5.3
50) 射水らしさの創出	1,647	237	14.4	831	50.5	457	27.7	122	7.4
51) 地域情報化の推進	1,645	294	17.9	965	58.7	308	18.7	78	4.7
52) 信頼される市政の推進	1,659	525	31.6	967	58.3	140	8.4	27	1.6
53) 行財政改革の推進	1,643	650	39.6	847	51.6	122	7.4	24	1.5
54) 地方分権社会への対応	1,642	557	33.9	886	54.0	152	9.3	47	2.9



3 - 2 . レーダーチャート

5 つのまちづくりの基本方針ごとに、それぞれの満足度、重要度の傾向や、満足度と重要度の差を読み取るためレーダーチャートを作成した。レーダーチャートの作成は設問ごとの満足度と重要度を4段階評定法で加重平均を算出して行った。(例：満足度の場合、「満足している」(4点)、「どちらかといえば満足している」(3点)、「どちらかといえば不安である」(2点)、「不満である」(1点)として回答を指標化し、施策ごとの平均点を算出した。)

以下、54の施策については、「施策名」(満足度平均値の順位 / 重要度平均値の順位)として表記する。

<全体>

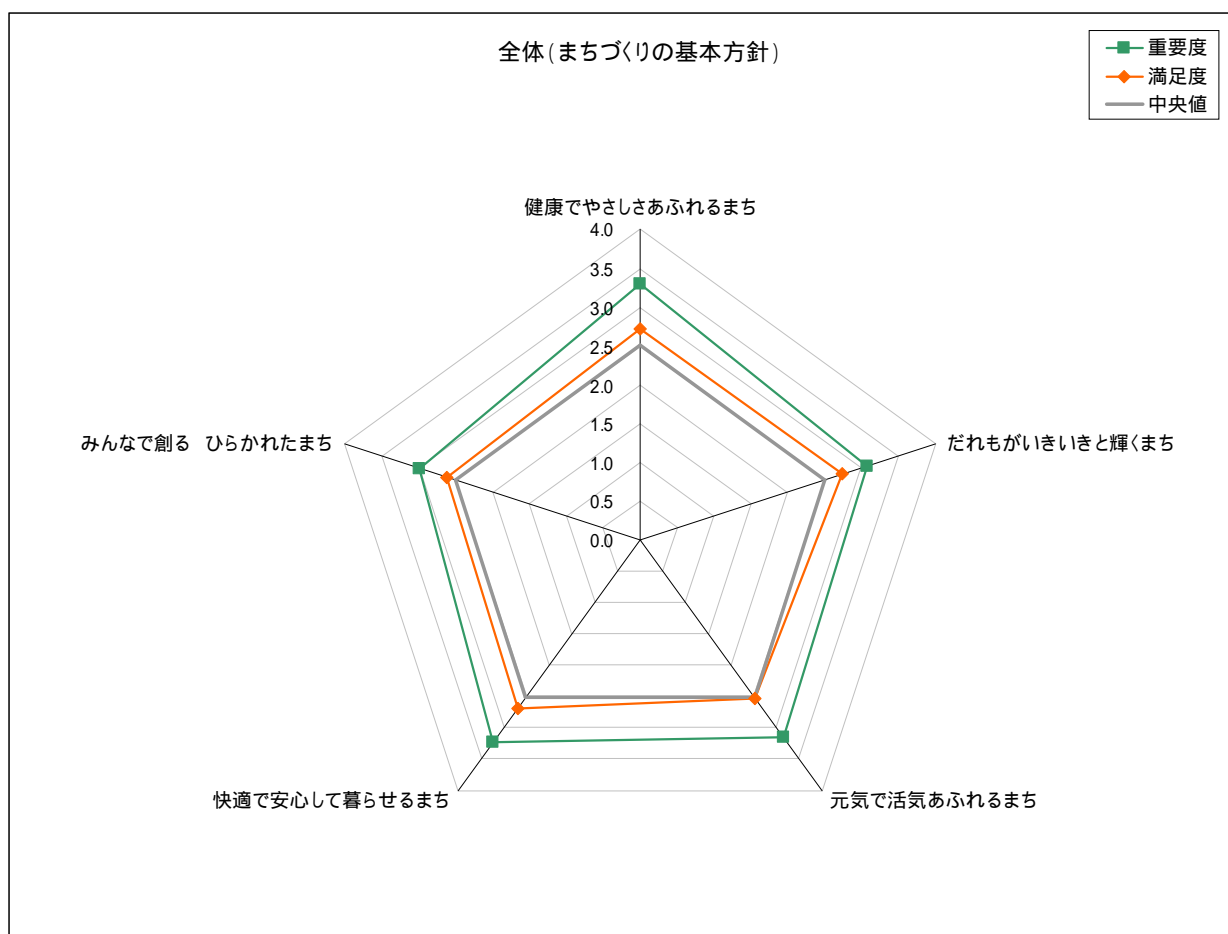
満足度平均 : 2.652 / 重要度平均 : 3.149

5 つのまちづくりの基本方針それぞれの満足度、重要度の平均値を比較すると、全てにおいて重要度が満足度を上回った。

平均値	満足度	重要度
健康でやさしさあふれるまち	2.712	3.287
だれもがいきいきと輝くまち	2.723	3.060
元気で活気あふれるまち	2.526	3.125
快適で安心して暮らせるまち	2.681	3.213
みんなで創る ひらかれたまち	2.617	2.982
回答全体	2.652	3.149

満足度の平均値では、『だれもがいきいきと輝くまち』が2.723と最も高く、次いで『健康でやさしさあふれるまち』(2.712)、『快適で安心して暮らせるまち』(2.681)、『みんなで創る ひらかれたまち』(2.617)、『元気で活気あふれるまち』(2.526)となった。重要度の平均値では、『健康でやさしさあふれるまち』が3.287と最も高く、次いで『快適で安心して暮らせるまち』(3.213)、『元気で活気あふれるまち』(3.125)、『だれもがいきいきと輝くまち』(3.060)、『みんなで創る ひらかれたまち』(2.982)となった。

重要度と満足度の差をみると、『元気で活気あふれるまち』で差が最も大きく、『だれもがいきいきと輝くまち』で差が最も小さい結果となった。



重要度と満足度の平均値の差が大きい施策を見ると、「雇用対策の充実」が1.086と最も大きく、次いで「質の高い医療の提供」(0.920)、「担い手育成の推進」(0.894)、「雪に強いまちづくりの推進」(0.890)、「災害に強いまちづくりの推進」(0.866)と続く結果となった。

一方、重要度と満足度の平均値の差が小さい、もしくは満足度が重要度を上回った施策を見ると、「国内交流の推進」が全施策中で唯一、満足度が重要度を上回り、差が0.059となった。次いで「国際交流の推進」(0.029)、「射水らしさの創出」(0.034)、「参画を促進する体制づくりの推進」(0.118)、「地域情報化の推進」(0.143)と続く結果となった。

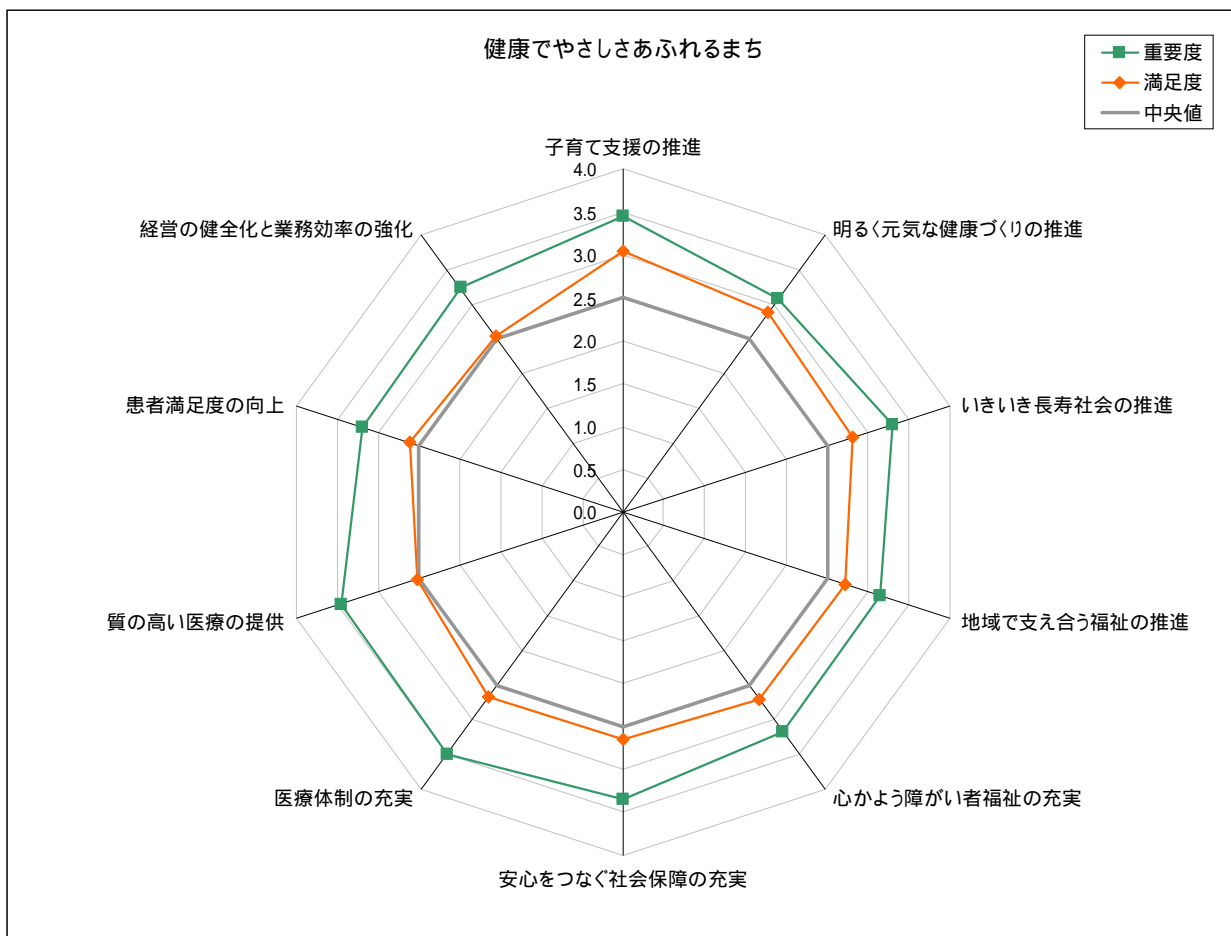
問6	施策名	満足度 (A)	満足度 順位	重要度 (B)	重要度 順位	B - A	差の 順位
健康でやさしさあふれるまち	1) 子育て支援の推進	3.033	1	3.448	5	0.415	36
	2) 明るく元気な健康づくりの推進	2.876	4	3.069	39	0.192	48
	3) いきいき長寿社会の推進	2.802	6	3.300	13	0.498	25
	4) 地域で支え合う福祉の推進	2.725	17	3.151	28	0.427	33
	5) 心かよう障がい者福祉の充実	2.699	20	3.178	26	0.479	30
	6) 安心をつなぐ社会保障の充実	2.641	32	3.342	10	0.701	13
	7) 医療体制の充実	2.659	29	3.497	1	0.839	6
	8) 質の高い医療の提供	2.538	41	3.458	3	0.920	2
	9) 患者満足度の向上	2.619	33	3.202	22	0.583	18
	10) 経営の健全化と業務効率の強化	2.528	45	3.222	20	0.693	14
だれもがいきいきと輝くまち	11) 学校教育の充実	2.761	9	3.464	2	0.702	12
	12) 教育環境の充実	2.754	12	3.430	7	0.676	15
	13) 地域・家庭教育の充実	2.773	7	3.284	16	0.511	22
	14) 生涯学習活動の推進	2.765	8	3.115	31	0.350	42
	15) 芸術・文化の継承と創造	2.693	22	2.921	47	0.229	46
	16) スポーツ・レクリエーションの振興	2.754	11	2.962	46	0.209	47
	17) 国内交流の推進	2.708	19	2.649	54	-0.059	54
	18) 国際交流の推進	2.673	25	2.703	53	0.029	53
	19) 男女共同参画の推進	2.660	28	2.969	45	0.309	45
	20) 人権尊重社会の推進	2.694	21	3.107	34	0.413	37
元気で活気あふれるまち	21) 射水ブランドの創造	2.678	24	3.069	38	0.391	39
	22) 魅力ある観光の振興	2.609	34	3.033	40	0.425	34
	23) 新産業の育成	2.510	47	3.071	37	0.561	21
	24) 活力ある工業の振興	2.464	50	3.181	25	0.717	9
	25) にぎわいのある商業の振興	2.388	53	3.105	35	0.717	10
	26) たくましい農業の推進	2.571	37	3.154	27	0.583	19
	27) 森林の育成と林業の振興	2.555	40	2.908	48	0.353	41
	28) 活気あふれる漁業の振興	2.709	18	3.072	36	0.362	40
	29) 水産流通加工業の振興	2.663	26	2.993	44	0.331	43
	30) 担い手育成の促進	2.393	52	3.287	15	0.894	3
快適で安心して暮らせるまち	31) 雇用対策の充実	2.325	54	3.411	9	1.086	1
	32) 勤労者福祉の充実	2.449	51	3.213	21	0.764	8
	33) 自然にやさしい環境保全の推進	2.742	15	3.134	30	0.392	38
	34) 地球にやさしい循環型社会の構築	2.727	16	3.232	18	0.505	23
	35) 特性を生かした土地利用の推進	2.534	42	3.019	43	0.485	28
	36) 個性あるまちづくりの推進	2.531	44	3.029	41	0.498	26
	37) 公共交通網の整備	2.518	46	3.138	29	0.619	16
	38) 地域をつなぐ道路網の整備	2.607	35	3.109	33	0.502	24
	39) 魅力的な住宅環境の充実	2.533	43	3.020	42	0.487	27
	40) 住みよい生活環境の推進	2.645	31	3.115	32	0.470	32
みんなで創る ひらかれたまち	41) 生活を支える上水道の充実	3.005	2	3.316	12	0.311	44
	42) 水環境を守る下水道の整備	2.905	3	3.323	11	0.418	35
	43) 暮らし安全なまちづくりの推進	2.758	10	3.231	19	0.473	31
	44) 災害に強いまちづくりの推進	2.567	38	3.433	6	0.866	5
	45) 暮らしを守る体制の充実	2.834	5	3.416	8	0.582	20
	46) 雪に強いまちづくりの推進	2.562	39	3.452	4	0.890	4
	47) 交通安全対策の推進	2.753	14	3.238	17	0.484	29
	48) 参画と協働によるまちづくりの促進	2.661	27	2.805	50	0.144	49
	49) 参画を促進する体制づくりの推進	2.653	30	2.771	51	0.118	51
	50) 射水らしさの創出	2.685	23	2.718	52	0.034	52
51) 地域情報化の推進	2.754	13	2.897	49	0.143	50	
52) 信頼される市政の推進	2.593	36	3.200	23	0.607	17	
53) 行財政改革の推進	2.500	48	3.292	14	0.792	7	
54) 地方分権社会への対応	2.476	49	3.189	24	0.714	11	

健康でやさしさあふれるまち

満足度平均 : 2.712 / 重要度平均 : 3.287

全ての施策で重要度が満足度を上回った。満足度、重要度ともに総じて高く、特に重要度の平均値は5つの基本方針の中で最も高い。「子育て支援の推進」(1位/5位)は54の施策の中で最も満足度の平均値が高く、「医療体制の充実」(29位/1位)は最も重要度の平均値が高い。

重要度と満足度の差をみると、「質の高い医療の提供」(41位/3位)、「医療体制の充実」、「安心をつなぐ社会保障の充実」(32位/10位)、「経営の健全化と業務効率の強化」(45位/20位)では差が大きく、「明るく元気な健康づくりの推進」(4位/39位)では差が小さい。



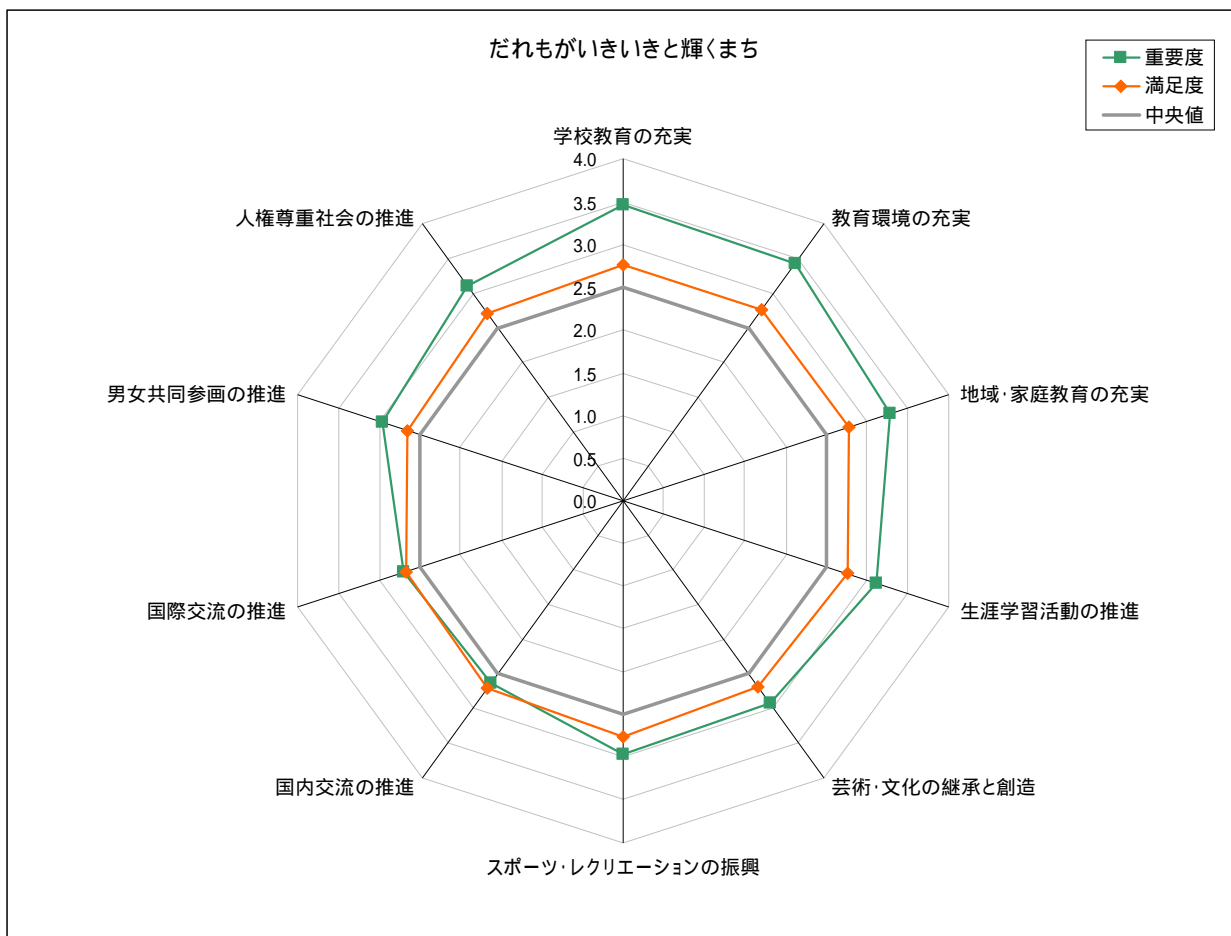
		施策名	満足度 (A)	満足度 順位	重要度 (B)	重要度 順位	B - A	差の 順位
健康 で やさ しさ あ ふ れ る ま ち	1)	子育て支援の推進	3.033	1	3.448	5	0.415	36
	2)	明るく元気な健康づくりの推進	2.876	4	3.069	39	0.192	48
	3)	いきいき長寿社会の推進	2.802	6	3.300	13	0.498	25
	4)	地域で支え合う福祉の推進	2.725	17	3.151	28	0.427	33
	5)	心かよう障がい者福祉の充実	2.699	20	3.178	26	0.479	30
	6)	安心をつなぐ社会保障の充実	2.641	32	3.342	10	0.701	13
	7)	医療体制の充実	2.659	29	3.497	1	0.839	6
	8)	質の高い医療の提供	2.538	41	3.458	3	0.920	2
	9)	患者満足度の向上	2.619	33	3.202	22	0.583	18
	10)	経営の健全化と業務効率の強化	2.528	45	3.222	20	0.693	14

だれもがいきいきと輝くまち

満足度平均：2.723 / 重要度平均：3.060

満足度の平均値は5つの基本方針の中で最も高い。10施策中9施策で重要度が満足度を上回った一方、重要度が54の施策の中で最も低い「国内交流の推進」(19位/54位)では、54施策中唯一、満足度が重要度を上回っている。

重要度と満足度の差をみると、「学校教育の充実」(9位/2位)、「教育環境の充実」(12位/7位)では差が大きく、「国内交流の推進」、「国際交流の推進」(25位/53位)「スポーツ・レクリエーションの振興」(11位/46位)、「芸術・文化の継承と創造」(22位/47位)では差が小さい。

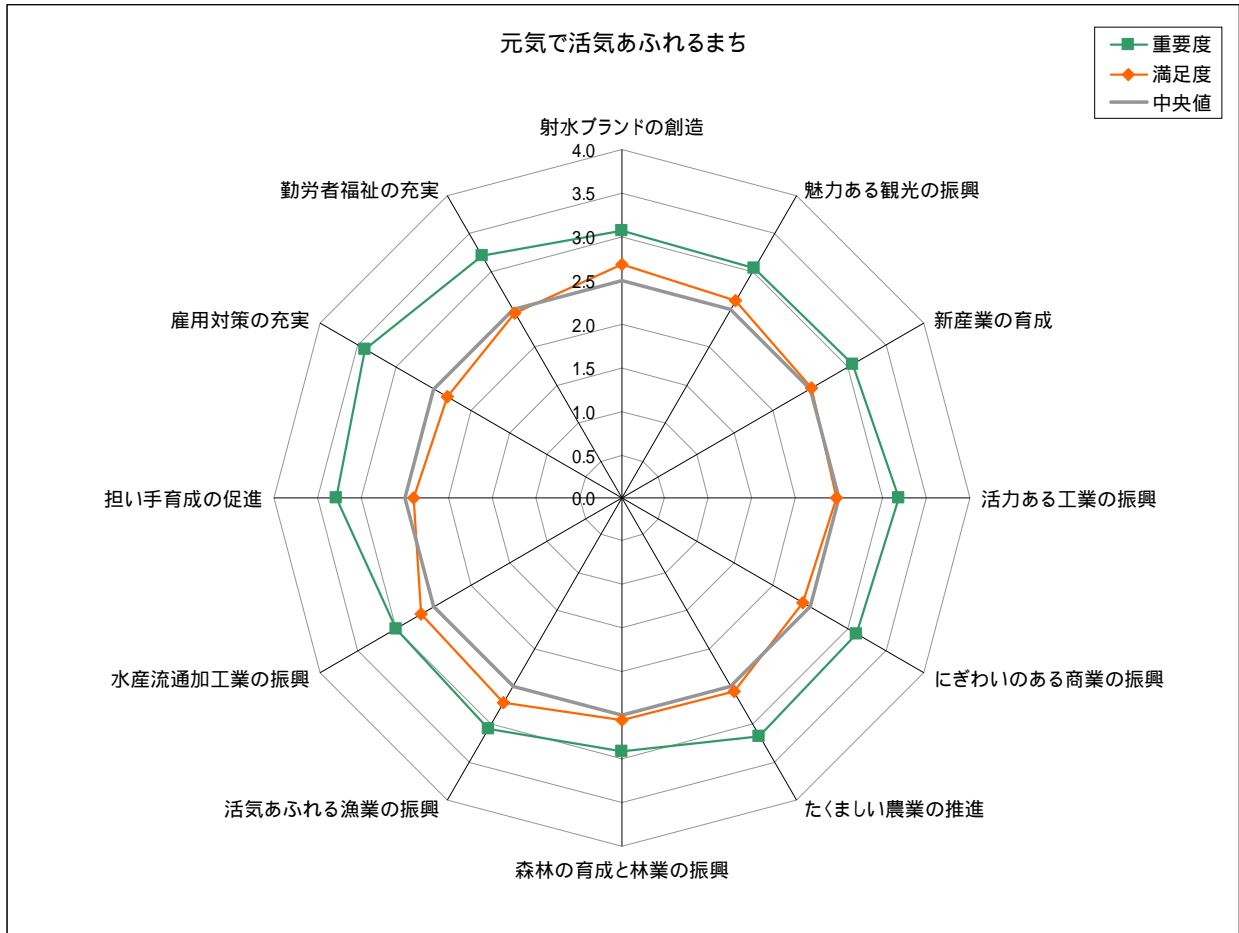


		施策名	満足度 (A)	満足度 順位	重要度 (B)	重要度 順位	B - A	差の 順位
だれもが いきいきと 輝くまち	11)	学校教育の充実	2.761	9	3.464	2	0.702	12
	12)	教育環境の充実	2.754	12	3.430	7	0.676	15
	13)	地域・家庭教育の充実	2.773	7	3.284	16	0.511	22
	14)	生涯学習活動の推進	2.765	8	3.115	31	0.350	42
	15)	芸術・文化の継承と創造	2.693	22	2.921	47	0.229	46
	16)	スポーツ・レクリエーションの振興	2.754	11	2.962	46	0.209	47
	17)	国内交流の推進	2.708	19	2.649	54	-0.059	54
	18)	国際交流の推進	2.673	25	2.703	53	0.029	53
	19)	男女共同参画の推進	2.660	28	2.969	45	0.309	45
	20)	人権尊重社会の推進	2.694	21	3.107	34	0.413	37

元気で活気あふれるまち

満足度平均 : 2.526 / 重要度平均 : 3.125

全ての施策で重要度が満足度を上回った。また、満足度の平均値は5つの基本方針の中で最も低い。重要度と満足度の差をみると、「雇用対策の充実」(54位/9位)、「担い手育成の推進」(52位/15位)、「勤労者福祉の充実」(51位/21位)、「活力ある工業の振興」(50位/25位)、「にぎわいのある商業の振興」(53位/35位)では差が大きく、特に「雇用対策の充実」は54の施策の中で最も差が大きい。



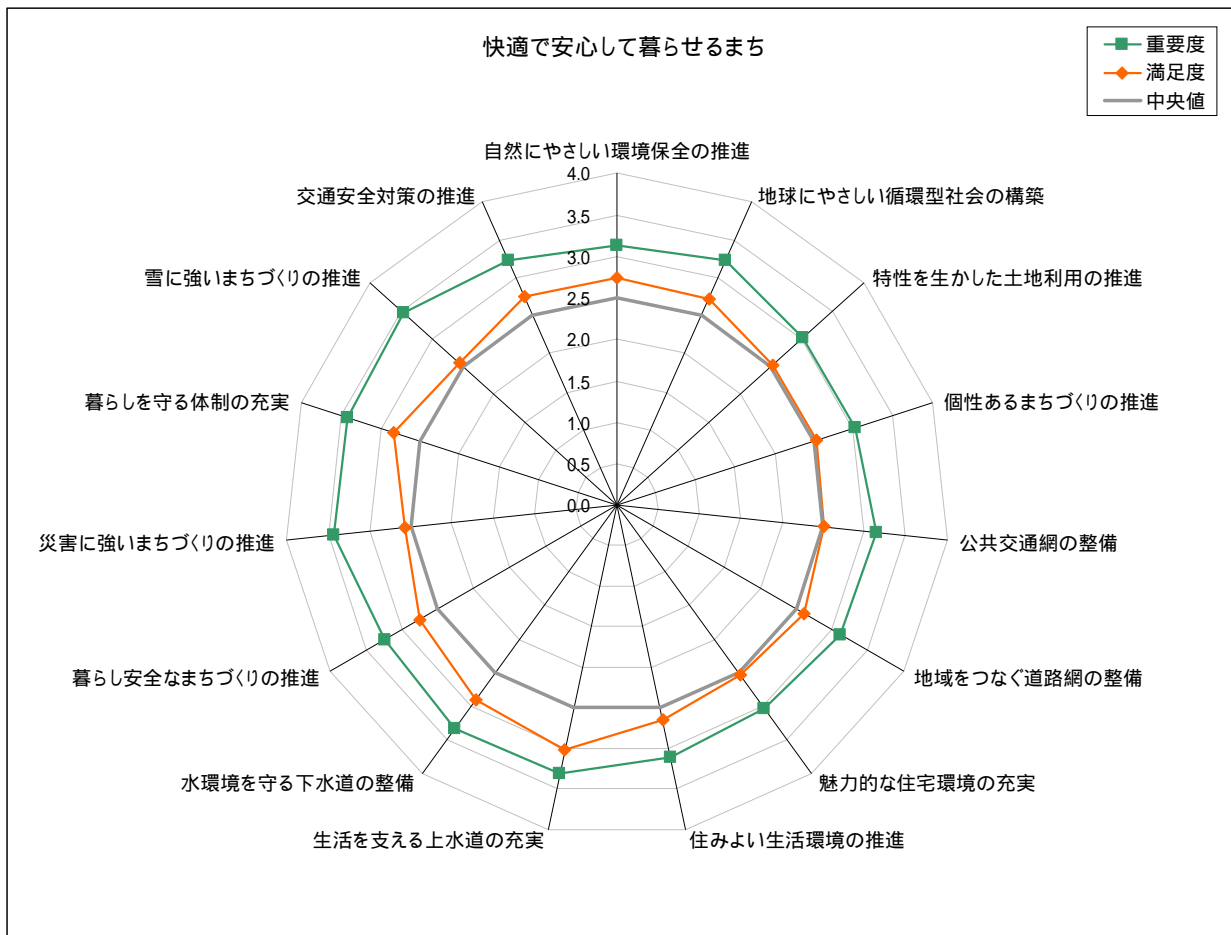
		施策名	満足度 (A)	満足度 順位	重要度 (B)	重要度 順位	B - A	差の 順位
元気で活気あふれるまち	21)	射水ブランドの創造	2.678	24	3.069	38	0.391	39
	22)	魅力ある観光の振興	2.609	34	3.033	40	0.425	34
	23)	新産業の育成	2.510	47	3.071	37	0.561	21
	24)	活力ある工業の振興	2.464	50	3.181	25	0.717	9
	25)	にぎわいのある商業の振興	2.388	53	3.105	35	0.717	10
	26)	たくましい農業の推進	2.571	37	3.154	27	0.583	19
	27)	森林の育成と林業の振興	2.555	40	2.908	48	0.353	41
	28)	活気あふれる漁業の振興	2.709	18	3.072	36	0.362	40
	29)	水産流通加工業の振興	2.663	26	2.993	44	0.331	43
	30)	担い手育成の促進	2.393	52	3.287	15	0.894	3
	31)	雇用対策の充実	2.325	54	3.411	9	1.086	1
	32)	勤労者福祉の充実	2.449	51	3.213	21	0.764	8

快適で安心して暮らせるまち

満足度平均 : 2.681 / 重要度平均 : 3.213

全ての施策で重要度が満足度を上回った。満足度、重要度ともに総じて高くなっている。

重要度と満足度の差をみると、「雪に強いまちづくりの推進」(39位/4位)、「災害に強いまちづくりの推進」(38位/6位)、「公共交通網の整備」(46位/29位)では差が大きくなっている。



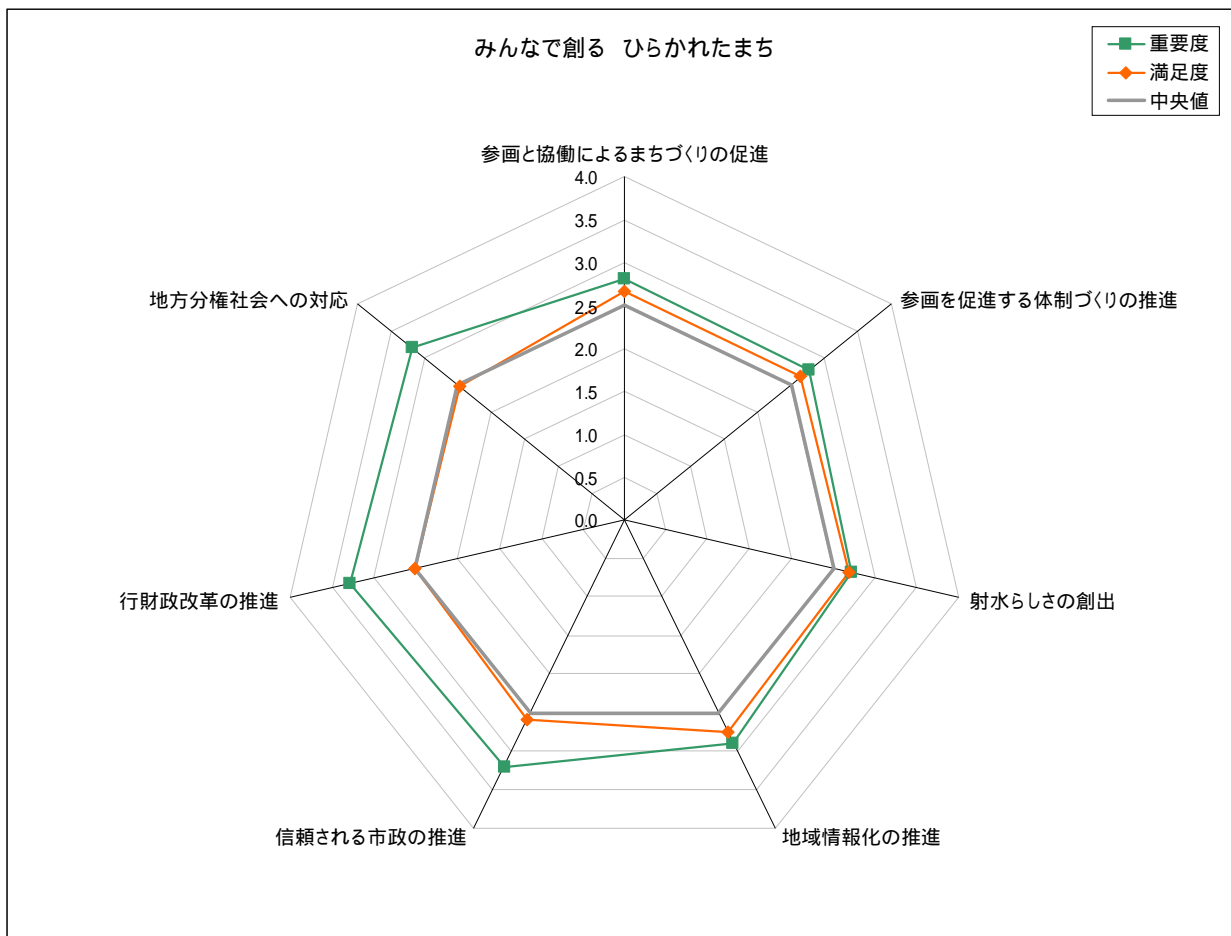
		施策名	満足度 (A)	満足度 順位	重要度 (B)	重要度 順位	B - A	差の 順位
快適で安心して暮らせるまち	33)	自然にやさしい環境保全の推進	2.742	15	3.134	30	0.392	38
	34)	地球にやさしい循環型社会の構築	2.727	16	3.232	18	0.505	23
	35)	特性を生かした土地利用の推進	2.534	42	3.019	43	0.485	28
	36)	個性あるまちづくりの推進	2.531	44	3.029	41	0.498	26
	37)	公共交通網の整備	2.518	46	3.138	29	0.619	16
	38)	地域をつなぐ道路網の整備	2.607	35	3.109	33	0.502	24
	39)	魅力的な住宅環境の充実	2.533	43	3.020	42	0.487	27
	40)	住みよい生活環境の推進	2.645	31	3.115	32	0.470	32
	41)	生活を支える上水道の充実	3.005	2	3.316	12	0.311	44
	42)	水環境を守る下水道の整備	2.905	3	3.323	11	0.418	35
	43)	暮らし安全なまちづくりの推進	2.758	10	3.231	19	0.473	31
	44)	災害に強いまちづくりの推進	2.567	38	3.433	6	0.866	5
	45)	暮らしを守る体制の充実	2.834	5	3.416	8	0.582	20
	46)	雪に強いまちづくりの推進	2.562	39	3.452	4	0.890	4
47)	交通安全対策の推進	2.753	14	3.238	17	0.484	29	

みんなで創る ひらかれたまち

満足度平均 : 2.617 / 重要度平均 : 2.982

全ての施策で重要度が満足度を上回ったが、「射水らしさの創出」(23位/52位)では差がわずかであった。満足度、重要度ともに総じて低く、特に重要度は5つの基本方針のうちで平均が最も低い。

重要度と満足度の差をみると、「行財政改革の推進」(48位/14位)、「地方分権社会への対応」(49位/24位)、「信頼される市政の推進」(36位/23位)では差が大きく、「射水らしさの創出」、「参画を促進する体制づくりの推進」(30位/51位)、「地域情報化の推進」(13位/49位)、「参画と協働によるまちづくりの促進」(27位/50位)では差が小さい。



		施策名	満足度 (A)	満足度順位	重要度 (B)	重要度順位	B - A	差の順位
みんなで創る ひらかれたまち	48)	参画と協働によるまちづくりの促進	2.661	27	2.805	50	0.144	49
	49)	参画を促進する体制づくりの推進	2.653	30	2.771	51	0.118	51
	50)	射水らしさの創出	2.685	23	2.718	52	0.034	52
	51)	地域情報化の推進	2.754	13	2.897	49	0.143	50
	52)	信頼される市政の推進	2.593	36	3.200	23	0.607	17
	53)	行財政改革の推進	2.500	48	3.292	14	0.792	7
	54)	地方分権社会への対応	2.476	49	3.189	24	0.714	11

3 - 3 . SWOT分析

全体

問6への回答についてSWOT分析を行った。集計にあたっては設問毎に4段階評定法の加重平均を算出した。

< 満足度 >

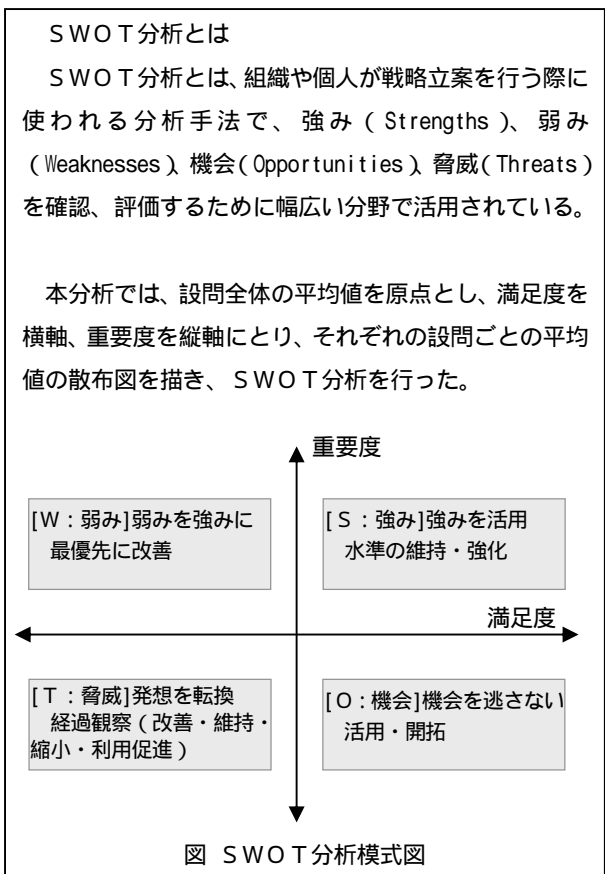
満足度が最も高いのは、「子育て支援の推進」となっており、「生活を支える上水道の充実」、「水環境を守る下水道の整備」、「明るく元気な健康づくりの推進」、「暮らしを守る体制の充実」と続いている。

< 重要度 >

重要度が最も高いのは、「医療体制の充実」となっており、「学校教育の充実」、「質の高い医療の提供」、「雪に強いまちづくりの推進」、「子育て支援の推進」と続いている。

< 全般 >

一般的に重要度が満足度を上回る傾向がみられる。



問6 -	満足度	N	重要度	N	
健康でやさしさあふれるまち	1) 子育て支援の推進	3.033	1634	3.448	1678
	2) 明るく元気な健康づくりの推進	2.876	1663	3.069	1693
	3) いきいき長寿社会の推進	2.802	1666	3.300	1701
	4) 地域で支え合う福祉の推進	2.725	1634	3.151	1680
	5) 心かよう障がい者福祉の充実	2.699	1608	3.178	1668
	6) 安心をつなぐ社会保障の充実	2.641	1641	3.342	1686
	7) 医療体制の充実	2.659	1667	3.497	1697
	8) 質の高い医療の提供	2.538	1653	3.458	1695
	9) 患者満足度の向上	2.619	1638	3.202	1673
	10) 経営の健全化と業務効率の強化	2.528	1620	3.222	1663
だれもがいきいきと輝くまち	11) 学校教育の充実	2.761	1614	3.464	1676
	12) 教育環境の充実	2.754	1616	3.430	1678
	13) 地域・家庭教育の充実	2.773	1603	3.284	1660
	14) 生涯学習活動の推進	2.765	1641	3.115	1685
	15) 芸術・文化の継承と創造	2.693	1630	2.921	1675
	16) スポーツ・レクリエーションの振興	2.754	1633	2.962	1673
	17) 国内交流の推進	2.708	1573	2.649	1643
	18) 国際交流の推進	2.673	1570	2.703	1644
	19) 男女共同参画の推進	2.660	1596	2.969	1659
	20) 人権尊重社会の推進	2.694	1593	3.107	1663
元気で活気あふれるまち	21) 射水ブランドの創造	2.678	1666	3.069	1682
	22) 魅力ある観光の振興	2.609	1659	3.033	1675
	23) 新産業の育成	2.510	1607	3.071	1646
	24) 活力ある工業の振興	2.464	1609	3.181	1651
	25) にぎわいのある商業の振興	2.388	1625	3.105	1660
	26) たくましい農業の推進	2.571	1610	3.154	1656
	27) 森林の育成と林業の振興	2.555	1588	2.908	1639
	28) 活気あふれる漁業の振興	2.709	1590	3.072	1634
	29) 水産流通加工業の振興	2.663	1571	2.993	1621
	30) 担い手育成の促進	2.393	1607	3.287	1655
快適で安心して暮らせるまち	31) 雇用対策の充実	2.325	1620	3.411	1668
	32) 勤労者福祉の充実	2.449	1602	3.213	1649
	33) 自然にやさしい環境保全の推進	2.742	1633	3.134	1652
	34) 地球にやさしい循環型社会の構築	2.727	1643	3.232	1667
	35) 特性を生かした土地利用の推進	2.534	1597	3.019	1635
	36) 個性あるまちづくりの推進	2.531	1624	3.029	1653
	37) 公共交通網の整備	2.518	1678	3.138	1687
	38) 地域をつなぐ道路網の整備	2.607	1643	3.109	1672
	39) 魅力的な住宅環境の充実	2.533	1627	3.020	1661
	40) 住みよい生活環境の推進	2.645	1641	3.115	1676
みんなが笑顔で暮らすまち	41) 生活を支える上水道の充実	3.005	1666	3.316	1673
	42) 水環境を守る下水道の整備	2.905	1661	3.323	1668
	43) 暮らし安全なまちづくりの推進	2.758	1631	3.231	1668
	44) 災害に強いまちづくりの推進	2.567	1647	3.433	1688
	45) 暮らしを守る体制の充実	2.834	1650	3.416	1678
	46) 雪に強いまちづくりの推進	2.562	1694	3.452	1699
	47) 交通安全対策の推進	2.753	1659	3.238	1674
みんなが笑顔で暮らすまち	48) 参画と協働によるまちづくりの促進	2.661	1597	2.805	1626
	49) 参画を促進する体制づくりの推進	2.653	1594	2.771	1629
	50) 射水らしさの創出	2.685	1624	2.718	1647
	51) 地域情報化の推進	2.754	1627	2.897	1645
	52) 信頼される市政の推進	2.593	1633	3.200	1659
みんなが笑顔で暮らすまち	53) 行財政改革の推進	2.500	1615	3.292	1643
	54) 地方分権社会への対応	2.476	1604	3.189	1642
平均	2.652		3.149		

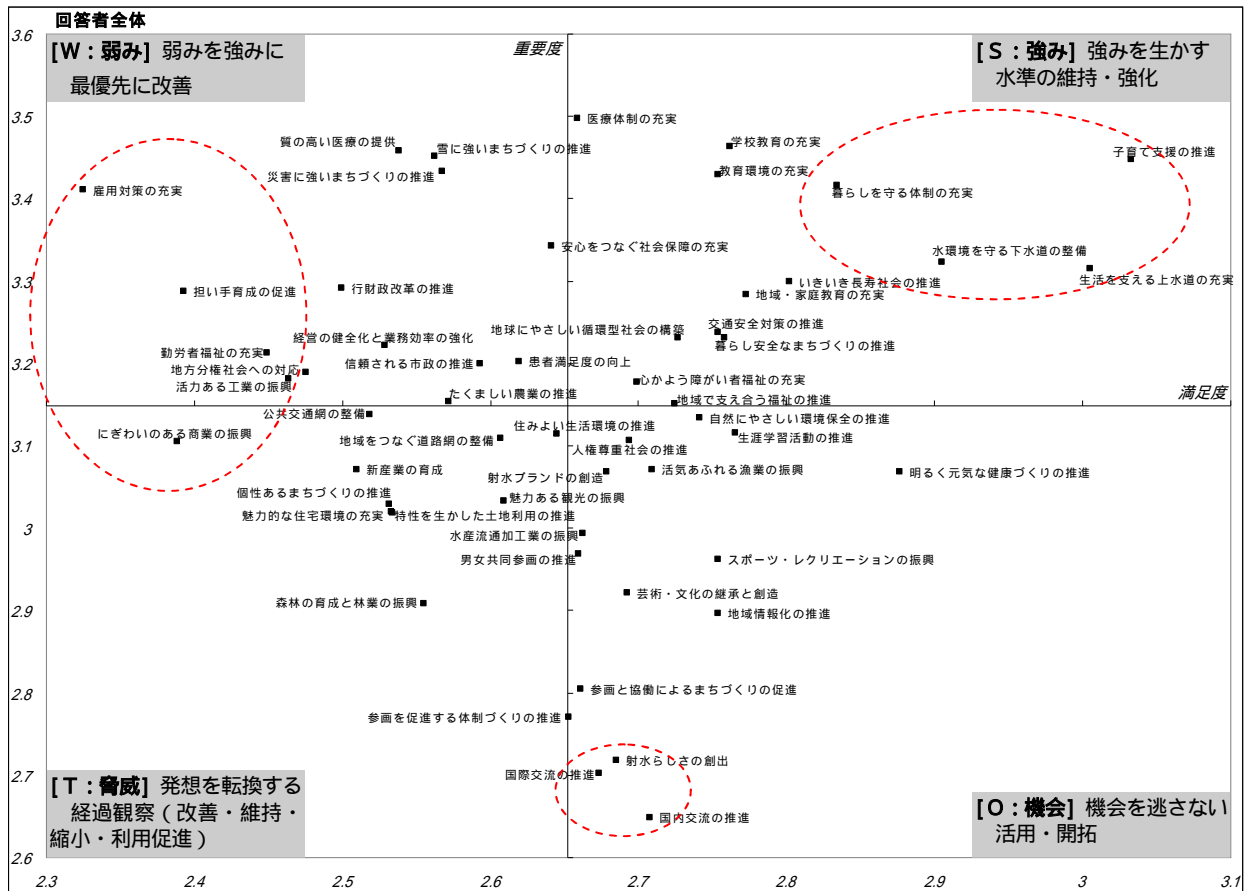
< SWOT分析結果 >

問6におけるSWOT分析結果は、下図のとおりとなった。

射水市総合計画における54の施策のうち、「子育て支援の推進」や「生活を支える上水道の充実」、「水環境を守る下水道の整備」、「暮らしを守る体制の充実」は、満足度が高く重要度も高い【S：強み】(水準の維持・強化)に分類できる。

一方で、「雇用対策の充実」をはじめ、「担い手育成の促進」、「勤労者福祉の充実」、「活力ある工業の振興」、「にぎわいのある商業の振興」といった雇用環境や活気に繋がる施策は、満足度が低く重要度が高い【W：弱み】(最優先に改善)に分類できる。

また、「国内交流の推進」や「国際交流の推進」、「射水らしさの創出」などは、満足度が高く重要度は低い【O：機会】(活用、開拓)に分類できる。



年代ごとのSWOT分析

問6の回答を問1(2)年代別で集計すると、問1(2)の回答者全体における結果は次頁の図のとおりで、問6におけるSWOT分析結果とほぼ同一の結果である。ここで得られた平均軸(図中赤色破線)をもとに、年代ごとの分析を行った。

<18～19歳>

満足度、重要度ともに全体の平均値より高く、どちらも他の年代と比べて最も高い。総じて【S：強み】と認識する傾向にある。

「子育て支援の推進」、「生活を支える上水道の充実」など多くの施策が【S：強み】として認識される一方、「公共交通網の整備」、「にぎわいのある商業の振興」などが【W：弱み】として認識されている。

<20歳代>

全体の平均値より重要度は高くなったが、満足度が各年代の中で最も低い結果となった。

「子育て支援の推進」や「学校教育の充実」、「教育環境の充実」は、低い満足度の中でもより【S：強み】として認識される一方、「雇用対策の充実」、「にぎわいのある商業の振興」など『元気で活気あふれるまち』の施策が総じて【W：弱み】と認識する傾向にある。

<30歳代>

満足度、重要度ともに全体の平均値よりやや高いが、概ね全体と同様の傾向となった。

「子育て支援の推進」が全年代の中で最も高く【S：強み】として認識されている。

<40歳代>

満足度、重要度ともに全体の平均値より低く、総じて【W：弱み】と認識する傾向にある。

『だれもがいきいきと輝くまち』の施策が総じて満足度が低くなっている。また、「個性あるまちづくりの推進」や「特性を活かした土地利用の推進」、「新産業の育成」などは【T：脅威】(改善・維持・縮小・利用促進)として分類され、重要度や満足度が他の年代より低い傾向にある。

<50歳代>

満足度、重要度ともに全体の平均値より低く、重要度は各年代の中で最も低い結果となった。

「子育て支援の推進」が若い年代に比べて【W：弱み】方向にシフトしたほか、「医療体制の充実」、「安心をつなぐ社会保障の充実」、「質の高い医療の提供」などで【W：弱み】にシフトする傾向にある。「国際交流の推進」、「国内交流の推進」が他の年代に比べ【S：強み】として認識する傾向にある。

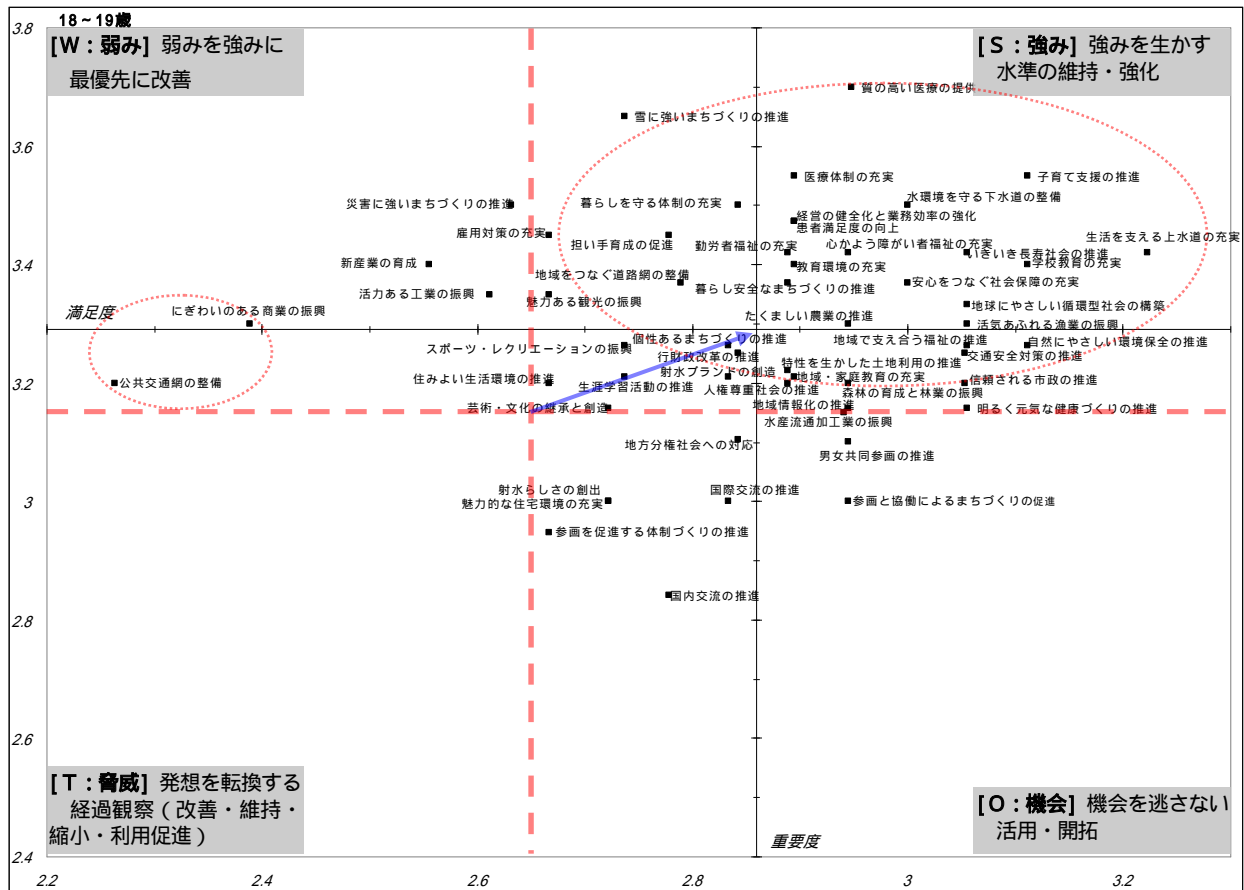
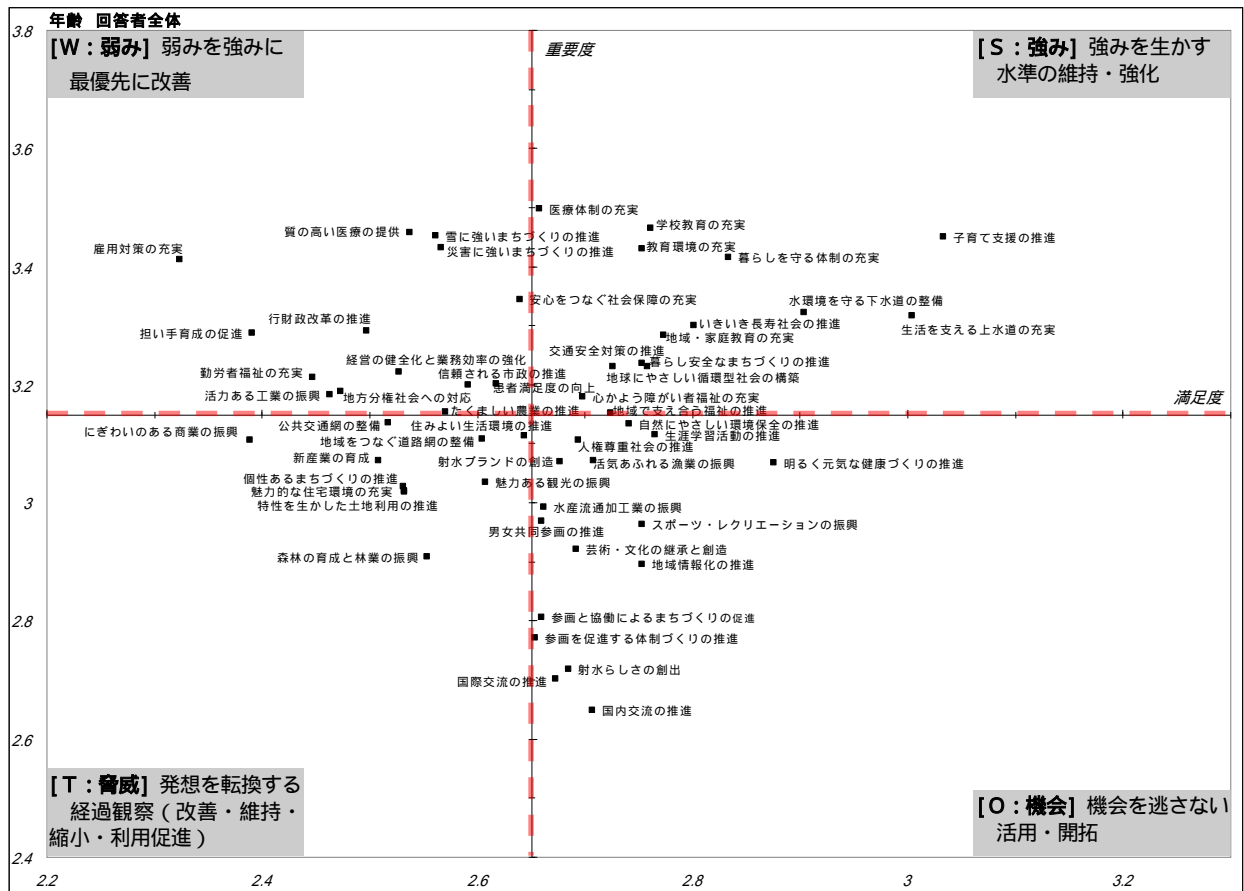
<60歳代>

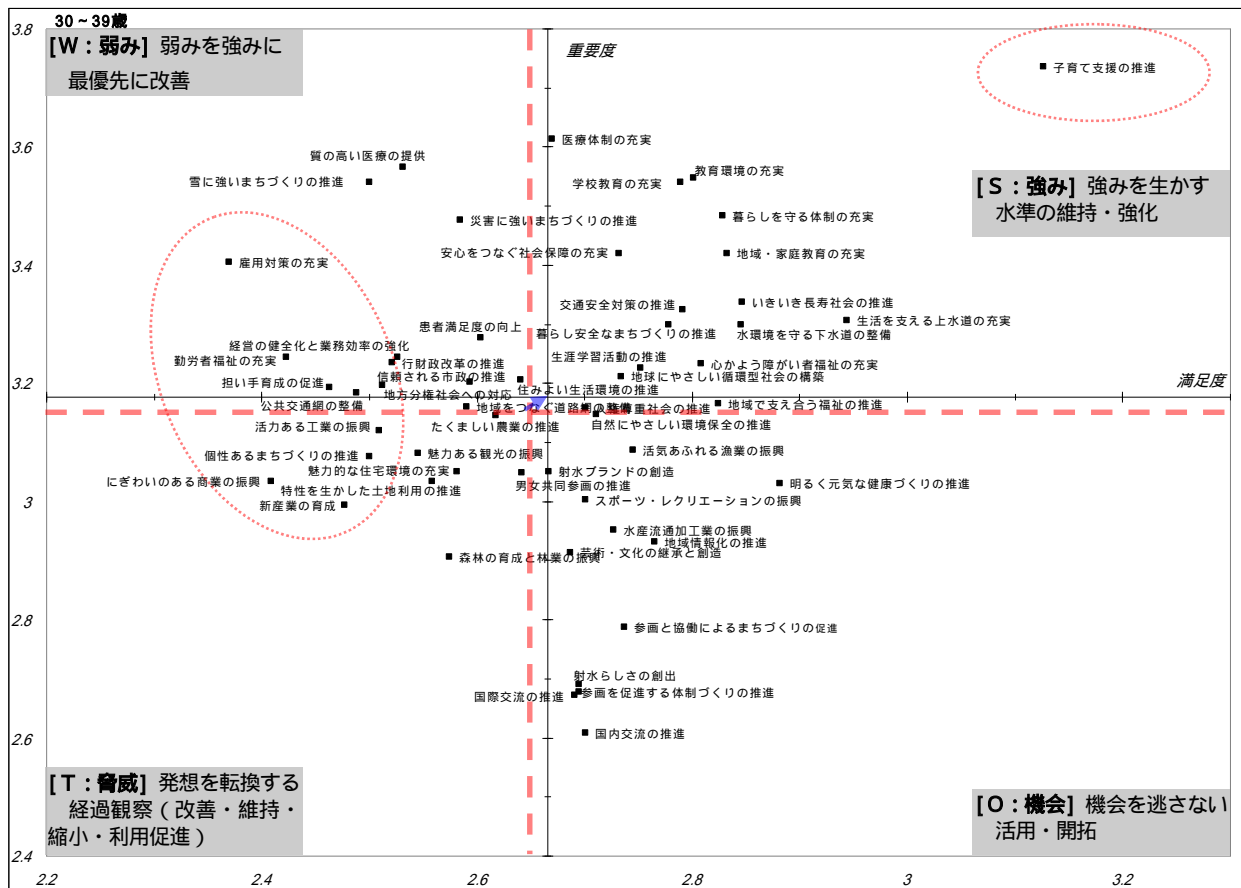
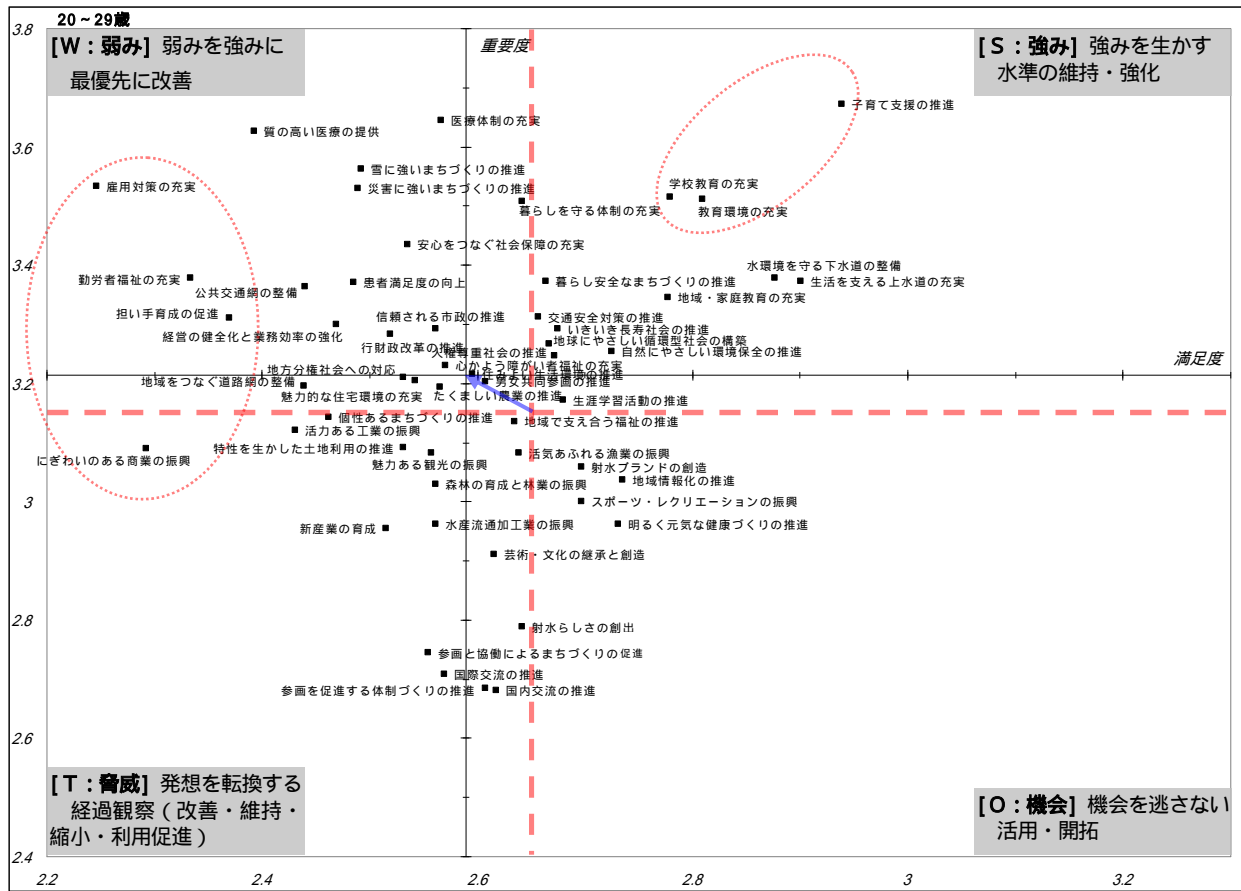
満足度が全体の平均値よりやや高く、重要度はほぼ同様であり、全体の傾向と大きな違いはみられなかった。

<70歳以上>

満足度、重要度ともに全体の平均値より高く、総じて【S：強み】として認識する傾向にある。

「生活を支える上水道の充実」、「水環境を守る下水道の整備」、「暮らしを守る体制の充実」といった生活基盤に関連する施策をより【S：強み】として認識している。また、「国際交流の推進」、「国内交流の推進」などの施策で他の年代より重要度が高くなっている。





居住地区ごとのSWOT分析

問6の回答を問1(6)の地区別で集計すると、問1(6)の回答者全体における結果は次頁の図のとおりで、問6におけるSWOT分析結果とほぼ同一の結果である。ここで得られた平均軸(図中赤色破線)をもとに、居住地区ごとの分析を行った。

<新湊地区>

全体の平均値より重要度はやや高く地区ごとで最も高くなった一方、満足度は地区ごとで最も低くなっている。

「子育て支援の推進」、「生活を支える上水道の充実」などの施策がより【S：強み】として認識される一方、「雪に強いまちづくりの推進」、「災害に強いまちづくりの推進」、「雇用対策の充実」などがより【W：弱み】として認識されている。また、「特性を生かした土地利用の推進」や「魅力的な住宅環境の充実」が【T：脅威】に分類され満足度や重要度が他の地区より低い傾向にある。

<小杉地区>

満足度、重要度ともに全体の平均値とほぼ同様の結果となり、傾向も同様であった。

「子育て支援の推進」、「生活を支える上水道の充実」、「水環境を守る下水道の整備」、「暮らしを守る体制の充実」がより【S：強み】として認識されている。

<大門地区>

全体の平均値より満足度が高く、また、重要度も低く、地区ごとで最も低くなっている。

「医療体制の充実」、「質の高い医療の提供」、「患者満足度の向上」の医療に関する施策でより【S：強み】として認識されている。

<大島地区>

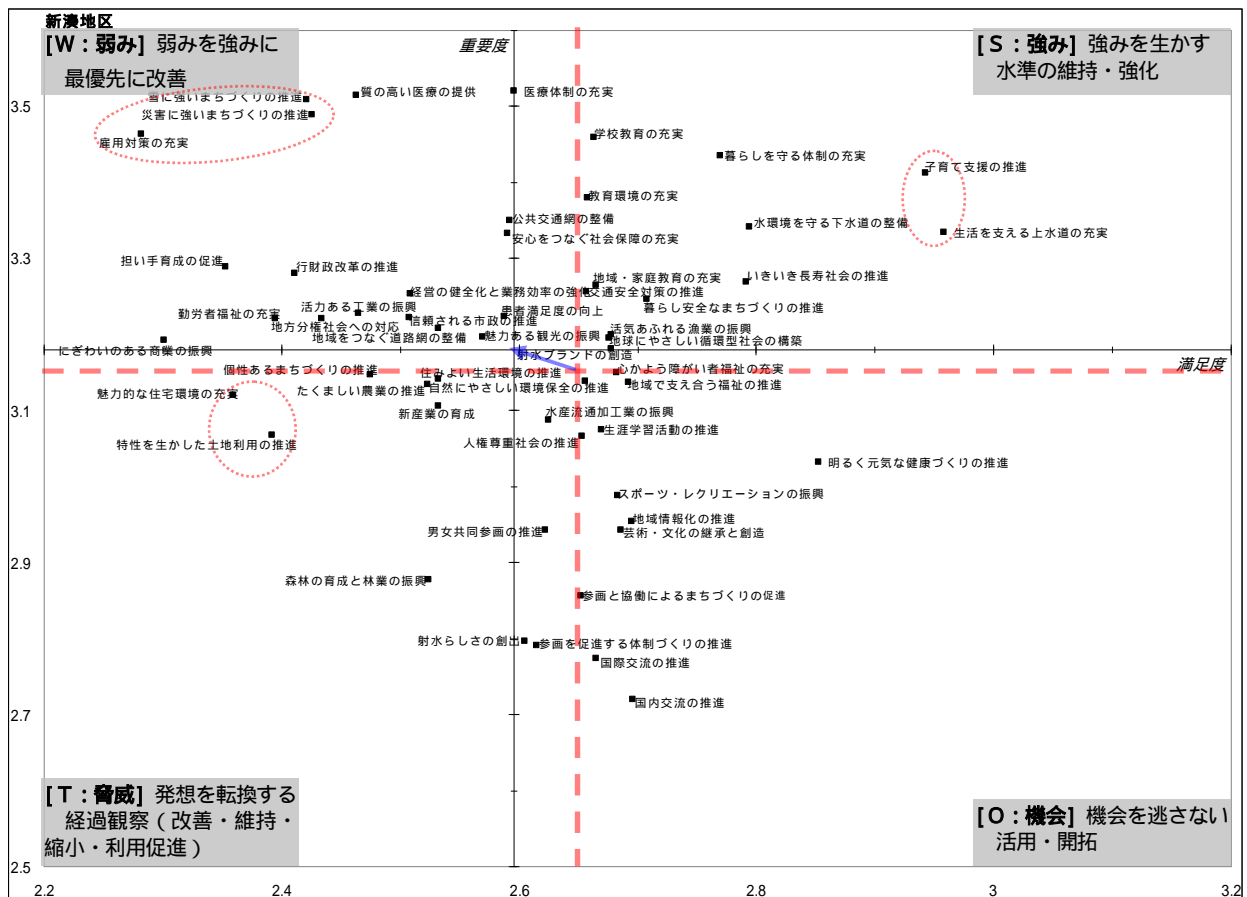
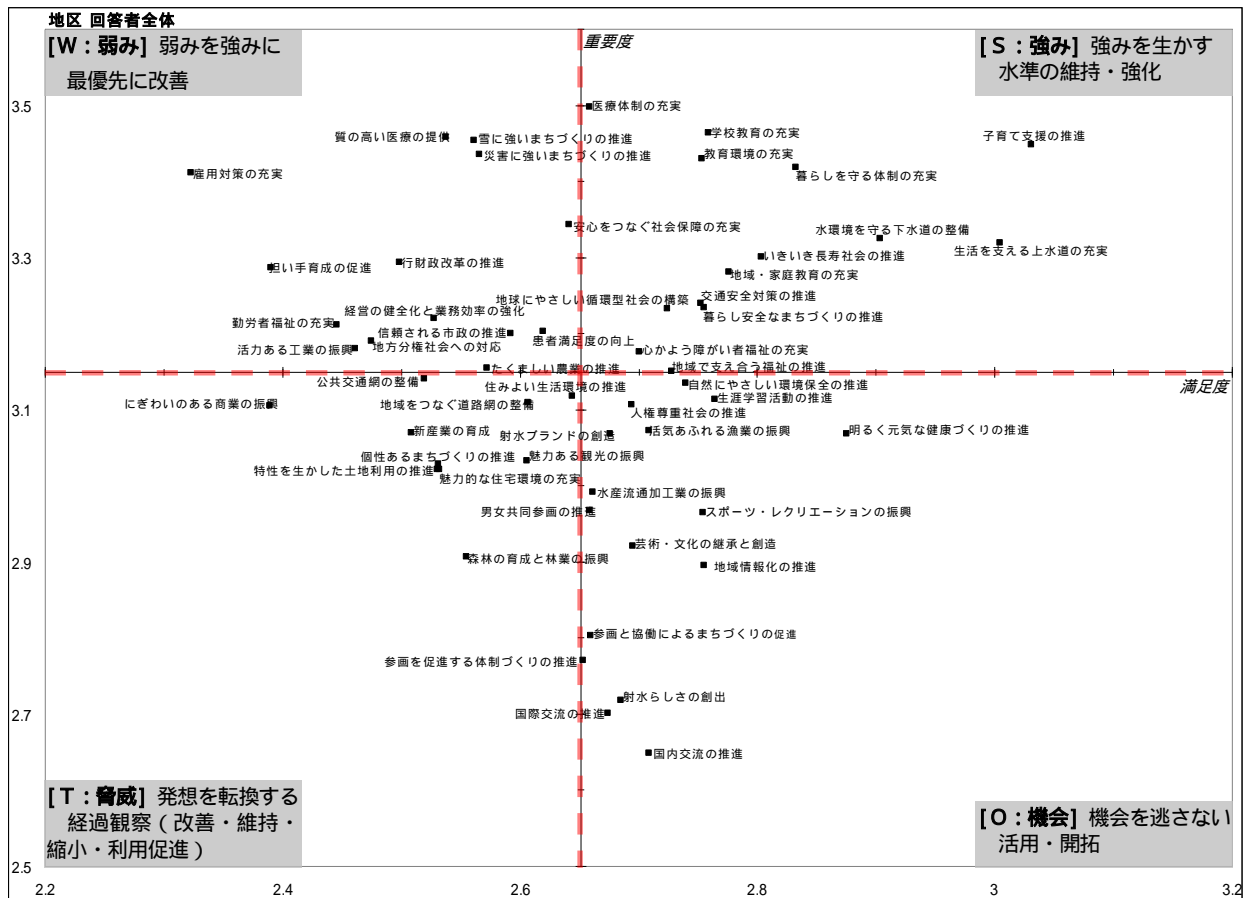
全体の平均値より満足度はやや高く、重要度はやや低くなっている。

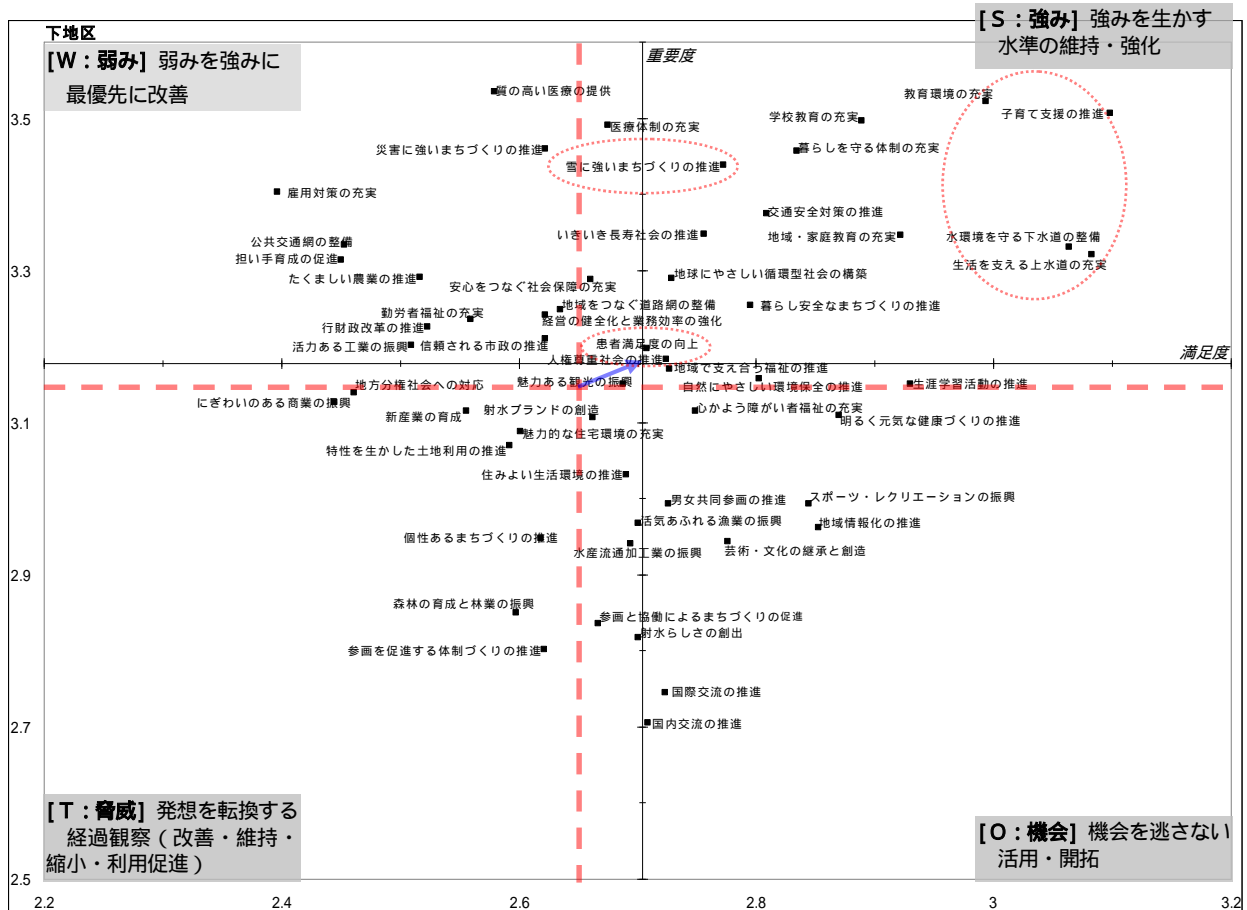
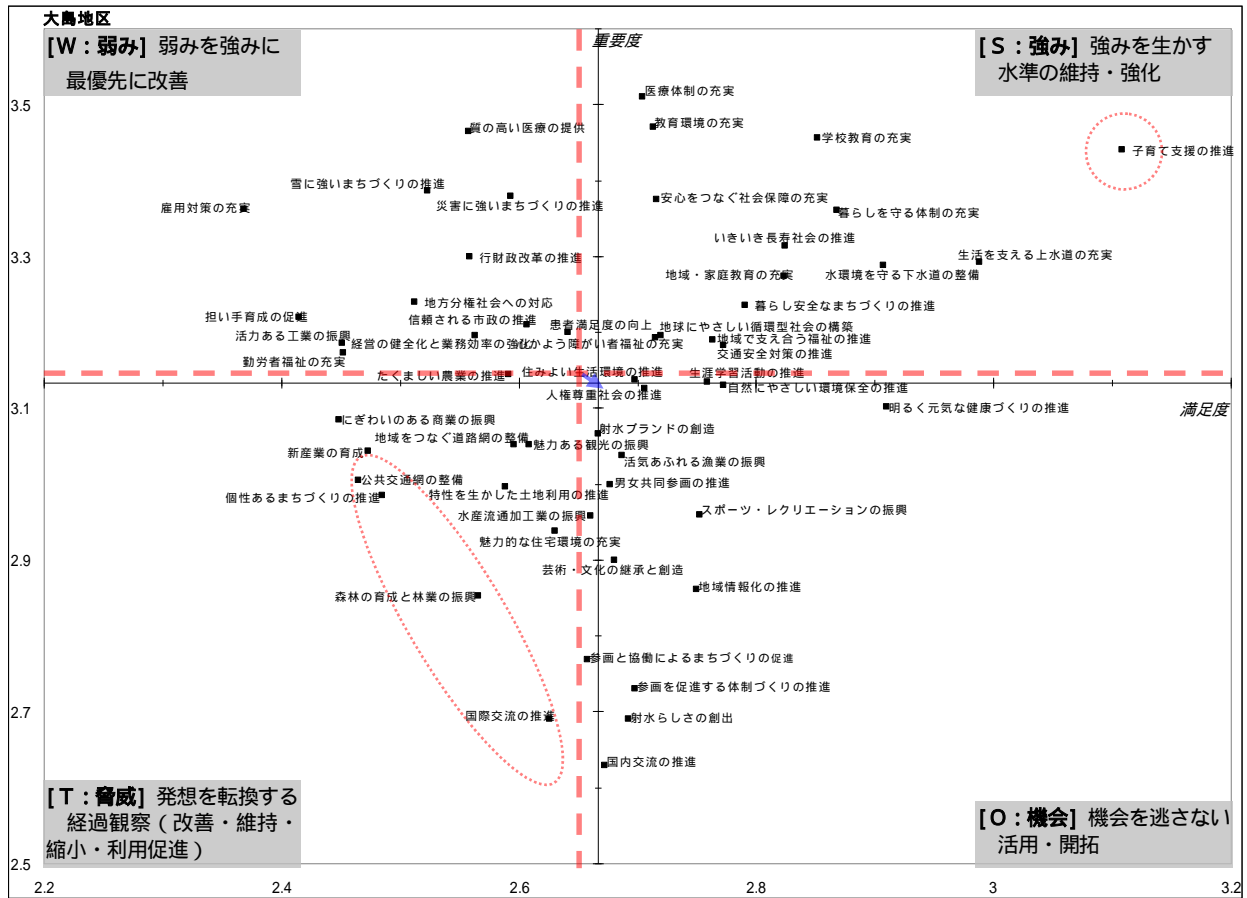
「子育て支援の推進」がより【S：強み】として認識される一方、「国際交流の推進」、「公共交通網の整備」、「個性あるまちづくりの推進」が【T：脅威】に分類され、満足度や重要度が他の地区より低い傾向にある。

<下地区>

満足度、重要度ともに全体の平均値より高く、満足度は地区ごとで最も高くなり、総じて【S：強み】として認識する傾向にある。

「子育て支援の推進」、「教育環境の充実」、「生活を支える上水道の充実」、「水環境を守る下水道の整備」、「雪に強いまちづくりの推進」、「患者満足度の向上」など、多くの施策で他の地区より【S：強み】として認識されている。





問7 問6の54の施策のうち、今後、射水市において重点的に取り組んでほしいと考えることは何ですか。あてはまる施策の番号を3つ選んで優先順位の高いものから順に下記の回答欄に記入してください。)

優先順位が付けられた各施策について、1位に3ポイント、2位に2ポイント、3位に1ポイントをそれぞれ乗じ、ポイント化して分析を行った。



施策(第1位:3ポイント)	%	ポイント
子育て支援の推進	18.3	882
医療体制の充実	6.3	303
行財政改革の推進	5.7	276
災害に強いまちづくりの推進	5.2	252
質の高い医療の提供	5.1	243
いきいき長寿社会の推進	5.0	240
学校教育の充実	4.9	237
安心をつなぐ社会保障の充実	4.9	234
信頼される市政の推進	4.3	207
雇用対策の充実	3.9	189

施策(第2位:2ポイント)	%	ポイント
医療体制の充実	6.8	218
学校教育の充実	6.0	192
災害に強いまちづくりの推進	5.7	182
雇用対策の充実	5.0	160
子育て支援の推進	4.5	144
行財政改革の推進	4.2	134
質の高い医療の提供	4.0	128
公共交通網の整備	3.9	124
雪に強いまちづくりの推進	3.8	122
いきいき長寿社会の推進	3.8	120

施策(第3位:1ポイント)	%	ポイント
災害に強いまちづくりの推進	6.4	102
行財政改革の推進	5.8	93
雪に強いまちづくりの推進	5.7	90
雇用対策の充実	5.2	82
信頼される市政の推進	5.1	81
質の高い医療の提供	4.0	64
医療体制の充実	3.7	59
公共交通網の整備	3.7	59
子育て支援の推進	3.5	55
学校教育の充実	3.2	51

< 集計結果 >

ポイントを合計した値で集計すると、「子育て支援の推進」が1,081ポイントで第1位となり、「医療体制の充実」が580ポイントで第2位に、「災害に強いまちづくりの推進」が536ポイントで第3位という結果となった。以下、「行財政改革の推進」(503ポイント)、「学校教育の推進」(480ポイント)、「質の高い医療の提供」(435ポイント)と続いている。第1位の「子育て支援の推進」は、第2位の「医療体制の充実」の約1.9倍の得点となっており、市民が優先する意向の強さがうかがえる。

< 優先順位別 >

第1位として選択された中では「子育て支援の推進」が18.3%と最も割合が高く、次いで「医療体制の充実」(6.3%)、「行財政改革の推進」(5.7%)、「災害に強いまちづくりの推進」(5.2%)、「質の高い医療の提供」(5.1%)、「いきいき長寿社会の推進」(5.0%)と続く結果となった。

第2位として選択された中では「医療体制の充実」が6.8%と最も割合が高く、次いで「学校教育の充実」(6.0%)、「災害に強いまちづくりの推進」(5.7%)、「雇用対策の充実」(5.0%)、「子育て支援の推進」(4.5%)と続く結果となった。

第3位として選択された中では「災害に強いまちづくりの推進」が6.4%と最も割合が高く、次いで「行財政改革の推進」(5.8%)、「雪に強いまちづくりの推進」(5.7%)、「雇用対策の充実」(5.2%)、「信頼される市政の推進」(5.1%)と続く結果となった。

< 既往調査との比較 >

同様の設問があった前回調査と比較すると、第1位はともに「子育て支援の推進」であり、得点率で今回(11.3%)が前回(8.2%)を上回っている。

順位が大きく変動した施策では、「災害に強いまちづくりの推進」が前回(15位/2.2%)から今回(3位/5.6%)で順位が12ランク上昇、得点率で約2.5倍となったほか、「明るく元気な健康づくりの推進」が前回(27位/1.3%)から今回(16位/2.0%)で順位が11ランク上昇、得点率で約1.5倍となり、「射水らしさの創出」が前回(46位/0.4%)から今回(35位/0.7%)で順位が11ランク上昇、得点率で約1.7倍となった。

一方、「射水ブランドの創造」は、前回(14位/2.9%)に対し、今回(19位/1.8%)は順位で5ランク下落、得点率で約0.7倍となったほか、「個性あるまちづくりの推進」が前回(18位/1.8%)に対し、今回(29位/0.8%)は順位で11ランク下落、得点率で約0.4倍となり、また「芸術・文化の継承と創造」や「水環境を守る下水道の整備」が前回順位を大きく下回る結果となった。

前回調査との比較

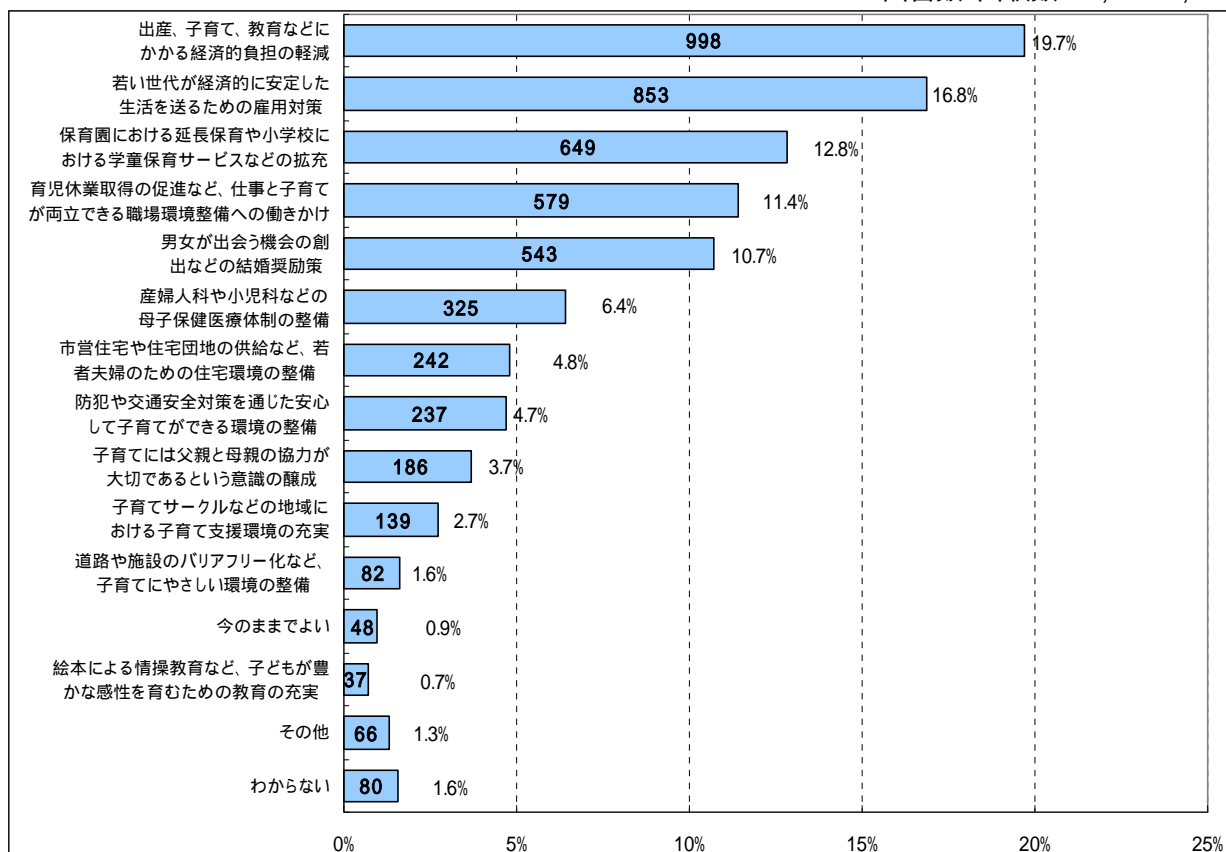
	今回調査			前回調査			比較(前回基準)	
	順位	得点 (P)	得点率 (%)	順位	得点 (P)	得点率 (%)	順位変動	得点率比 (%)
子育て支援の推進	1	1,081	11.27	1	790	8.21	0	137.3
医療体制の充実	2	580	6.05	4	517	5.37	2	112.5
災害に強いまちづくりの推進	3	536	5.59	15	213	2.21	12	252.4
行財政改革の推進	4	503	5.24	2	619	6.43	-2	81.5
学校教育の充実	5	480	5.00	5	430	4.47	0	112.0
質の高い医療の提供	6	435	4.53	7	417	4.33	1	104.6
雇用対策の充実	7	431	4.49	3	538	5.59	-4	80.4
いきいき長寿社会の推進	8	407	4.24	10	341	3.54	2	119.7
信頼される市政の推進	9	396	4.13	8	390	4.05	-1	101.9
安心をつなぐ社会保障の充実	10	385	4.01	6	419	4.35	-4	92.2
雪に強いまちづくりの推進	11	368	3.84	12	286	2.97	1	129.1
公共交通網の整備	12	348	3.63	9	377	3.92	-3	92.6
地域で支え合う福祉の推進	13	327	3.41	13	243	2.53	0	135.0
教育環境の充実	14	202	2.11	11	335	3.48	-3	60.5
活力ある工業の振興	15	193	2.01	20	163	1.69	5	118.8
明るく元気な健康づくりの推進	16	192	2.00	27	125	1.30	11	154.1
担い手育成の促進	17	178	1.86	20	163	1.69	3	109.5
にぎわいのある商業の振興	18	175	1.82	16	192	2.00	-2	91.4
射水ブランドの創造	19	171	1.78	14	239	2.48	-5	71.8
魅力ある観光の振興	20	166	1.73	23	145	1.51	3	114.8
心かよう障がい者福祉の充実	21	132	1.38	17	182	1.89	-4	72.8
地域をつなぐ道路網の整備	22	120	1.25	24	144	1.50	2	83.6
たくましい農業の推進	23	116	1.21	26	138	1.43	3	84.3
地方分権社会への対応	24	112	1.17	22	154	1.60	-2	73.0
新産業の育成	25	99	1.03	28	117	1.22	3	84.9
暮らしを守る体制の充実	26	97	1.01	19	167	1.74	-7	58.3
魅力的な住宅環境の充実	27	85	0.89	35	77	0.80	8	110.7
スポーツ・レクリエーションの振興	28	81	0.84	31	105	1.09	3	77.4
個性あるまちづくりの推進	29	75	0.78	18	175	1.82	-11	43.0
生涯学習活動の推進	30	74	0.77	36	74	0.77	6	100.3
暮らし安全なまちづくりの推進	31	74	0.77	28	117	1.22	-3	63.4
地球にやさしい循環型社会の構築	32	73	0.76	30	110	1.14	-2	66.6
地域・家庭教育の充実	33	71	0.74	32	105	1.09	-1	67.8
住みよい生活環境の推進	34	69	0.72	25	143	1.49	-9	48.4
射水らしさの創出	35	67	0.70	46	39	0.41	11	172.3
自然にやさしい環境保全の推進	36	66	0.69	37	68	0.71	1	97.4
特性を生かした土地利用の推進	37	62	0.65	42	47	0.49	5	132.3
生活を支える上水道の充実	38	60	0.63	43	43	0.45	5	140.0
地域情報化の推進	39	55	0.57	39	66	0.69	0	83.6
患者満足度の向上	40	51	0.53	41	50	0.52	1	102.3
人権尊重社会の推進	41	49	0.51	44	40	0.42	3	122.9
勤労者福祉の充実	42	47	0.49	38	66	0.69	-4	71.4
交通安全対策の推進	43	46	0.48	44	40	0.42	1	115.4
芸術・文化の継承と創造	44	44	0.46	33	82	0.85	-11	53.8
参画と協働によるまちづくりの促進	45	42	0.44	48	30	0.31	3	140.4
水環境を守る下水道の整備	46	32	0.33	33	82	0.85	-13	39.1
森林の育成と林業の振興	47	28	0.29	42	47	0.49	-5	59.8
経営の健全化と業務効率の強化	48	25	0.26	40	62	0.64	-8	40.4
活気あふれる漁業の振興	49	25	0.26	52	23	0.24	3	109.0
男女共同参画の推進	50	24	0.25	49	27	0.28	-1	89.2
参画を促進する体制づくりの推進	51	23	0.24	50	26	0.27	-1	88.7
国際交流の推進	52	8	0.08	51	23	0.24	-1	34.9
水産流通加工業の振興	53	4	0.04	54	3	0.03	1	133.8
国内交流の推進	54	3	0.03	53	9	0.09	-1	33.4

4. 主要課題への意向

問8 平成22年国勢調査における射水市の人口は93,588人(平成22年10月1日現在)であり、前回調査時(平成17年)と比較して621人の減少となりました。

人口減少の要因の1つとして少子化の進展が挙げられますが、射水市では少子化対策として、今後どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,781/1,825



< 集計結果 >

「出産、子育て、教育などにかかる経済的負担の軽減」が19.7%と最も高く、次いで「若い世代が経済的に安定した生活を送るための雇用対策」(16.8%)、「保育園における延長保育や小学校における学童保育サービスなどの拡充」(12.8%)、「育児休業取得の促進など、仕事と子育てが両立できる職場環境整備への働きかけ」(11.4%)、「男女が出会う機会の創出などの結婚奨励策」(10.7%)と続く結果となり、経済的負担や雇用への対策のほか、子育て支援へのニーズの高さがうかがえる。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

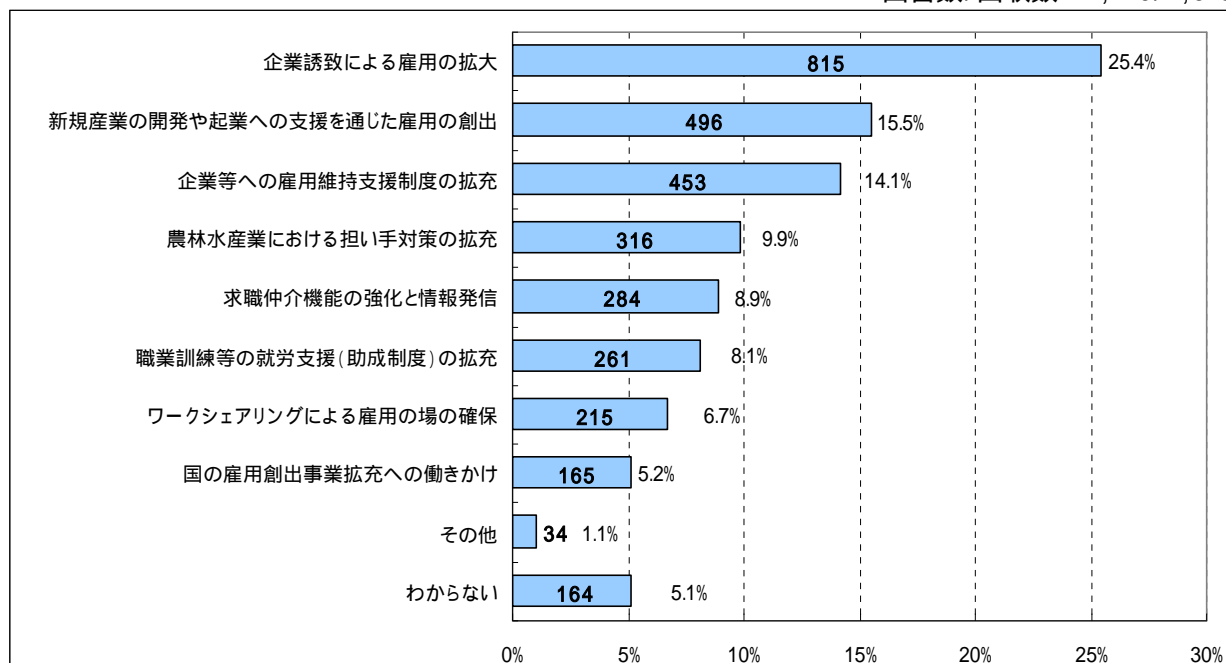
年代別で集計すると、18～19歳から40歳代までは、「出産、子育て、教育などにかかる経済的負担の軽減」(18～19歳19.0%、20歳代25.5%、30歳代25.0%、40歳代22.3%)が第1位であり、50歳代から70歳以上では、「若い世代が経済的に安定した生活を送るための雇用対策の充実」(50歳代18.2%、60歳代18.7%、70歳以上18.9%)が第1位であった。また、60歳代から70歳以上では、「男女が出会う機会の創出などの結婚奨励策」(60歳代14.1%、70歳以上14.5%)が他の年代と比べて高く、それぞれ第3位であった。

地区別で集計すると、設問ごとにわずかな差はあるものの全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

問9 我が国の景気は、世界的な経済・金融危機以降、持ち直しつつあるものの依然として厳しい状況が続いており、毎年実施する工業統計調査の結果では、近年の射水市内における事業所数や従業員数は減少傾向にあります。

このような中、市の雇用対策として、今後どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,716/1,825



< 集計結果 >

「企業誘致による雇用の拡大」が25.4%と最も高く、次いで「新規産業の開発や起業への支援を通じた雇用の創出」(15.5%)、「企業等への雇用維持支援制度の拡充」(14.1%)と続く結果となり、雇用の拡大、創出などの取組へのニーズの高さがうかがえる。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、「企業誘致による雇用の拡大」(男性26.9%、女性24.3%)が男性、女性ともに第1位であったが、男性は「新規産業の開発や起業への支援を通じた雇用の創出」(18.1%)が第2位であり、女性は「企業等への雇用維持支援制度の拡充」(14.7%)が第2位であった。

年代別で集計すると、「企業誘致による雇用の拡大」が全ての年代で第1位であった。18~19歳から40歳代では、「企業等への雇用維持支援制度の拡充」、50歳代から70歳以上では「新規産業の開発や起業への支援を通じた雇用の創出」がそれぞれ第2位であった。

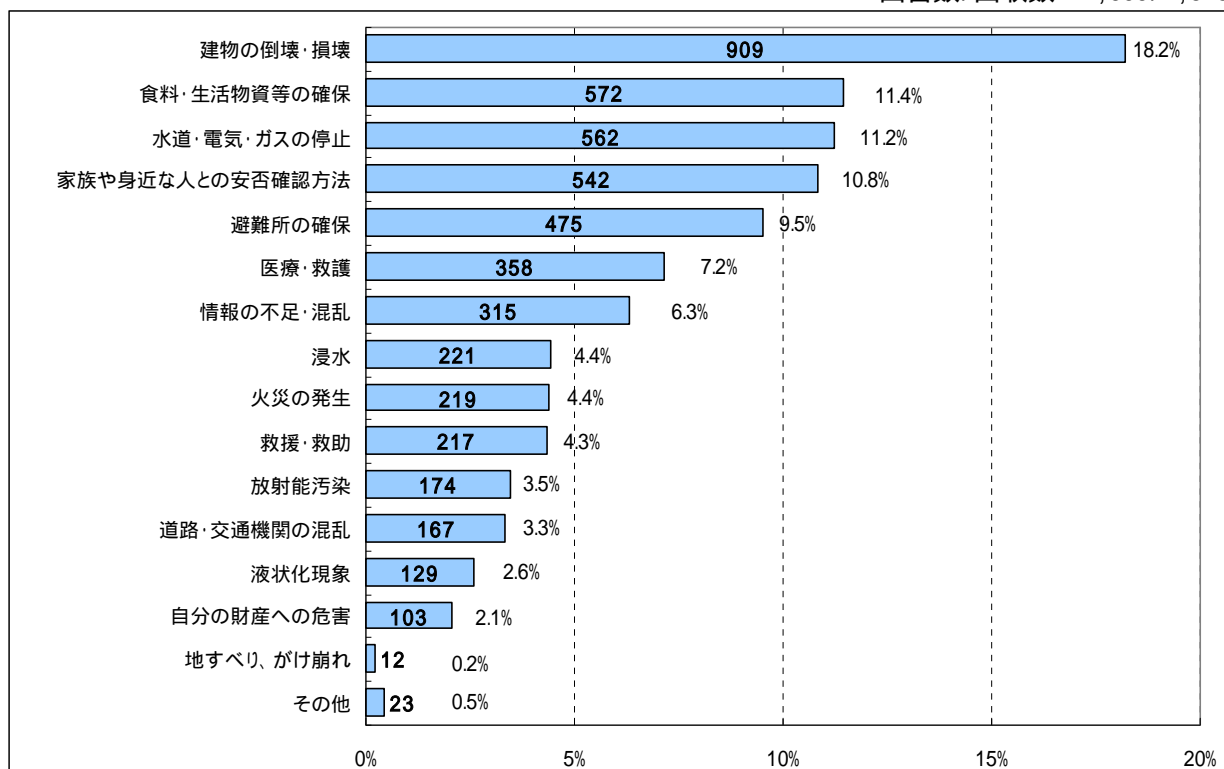
地区別で集計すると、「企業誘致による雇用の拡大」が全ての地区で第1位であった。新湊地区、小杉地区、大門地区では「新規産業の開発や起業への支援を通じた雇用の創出」が、大島地区では「企業等への雇用維持支援制度の拡充」が、下地区では「農林水産業における担い手対策の拡充」がそれぞれ第2位であった。

問10 平成23年3月に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に大きな被害をもたらしました。想定を超えた大きな津波の発生や広域・複合災害により、これまでの災害対策を見直す契機となっています。

射水市では、災害に強いまちづくりを重点施策の1つとして掲げ、津波ハザードマップの作成や公共施設の耐震化などを進めていますが、あなたの災害に対する意識についておたずねします。

大規模な災害が発生した場合、あなたが特に心配することは何ですか。あてはまるものを3つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,666/1,825



< 集計結果 >

「建物の倒壊・損壊」が18.2%と最も高く、次いで「食料・生活物資等の確保」(11.4%)、「水道・電気・ガスの停止」(11.2%)、「家族や身近な人との安否確認方法」(10.8%)と続く結果となった。大規模災害時の市民の心配事は、避難時の安全性や被災後の生活など、多岐にわたっている。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性、女性ともに「建物の倒壊・損壊」が第1位であった。男性では「食料・生活物資等の確保」が、女性では「家族や身近な人との安否確認方法」がそれぞれ第2位であった。順位の違いはみられるものの、全体の傾向はほぼ同様であった。

年代で集計すると、18～19歳及び40歳代から70歳以上で「建物の倒壊・損壊」が第1位であり、20歳代と30歳代では、「家族や身近な人との安否確認方法」が第1位、「建物の倒壊・損壊」は第3位であった。

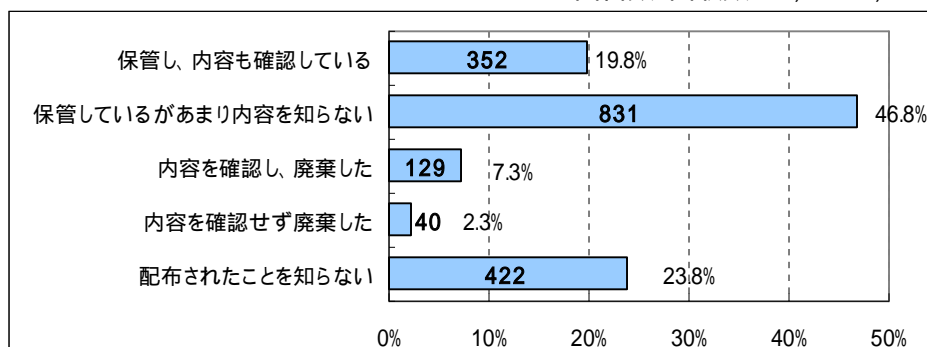
地区別で集計すると、全ての地区で「建物の倒壊・損壊」が第1位となった。新湊地区では「避難所の確保」、小杉地区と大島地区では「水道・電気・ガスの停止」、大門地区では「食料・生活物資等の確保」、下地区では「家族や身近な人との安否確認方法」がそれぞれ第2位であった。また、小杉地区では「浸水」が他の地区より低い結果となった。

市では、これまで防災ガイドブック、洪水ハザードマップや地震防災マップなどを全戸配布していますが、保管していますか。また、内容を確認していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,774/1,825

<集計結果>

「保管しているがあまり内容を知らない」が46.8%と最も高く、次いで「配布されたことを知らない(23.8%)」と続き、「保管し、内容も確認している」は19.8%で約2割に留まっている。



<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、30歳代から70歳以上では「保管しているがあまり内容を知らない」が最も高い割合となり、18～19歳と20歳代では「配布されたことを知らない」が最も高かった。なお、「配布されたことを知らない」は年代が高くなるに従い割合が低くなる傾向にあり、「保管し、内容も確認している」は年代が高くなるに従い割合が高くなる傾向にあった。

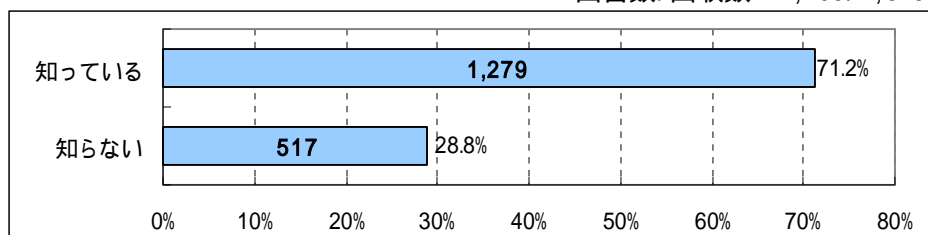
地区別で集計すると、大島地区で「保管し、内容も確認している」が12.3%と、他の地区と比べてやや低い割合となったが、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

あなたは、自分が住んでいる地域の避難所を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,796/1,825

<集計結果>

「知っている」が71.2%と7割以上を占め、「知らない」(28.8%)よりも高くなった。



<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに「知っている」の方が高い割合となったが、女性が73.2%と、男性(68.3%)をやや上回っている。

年代別で集計すると、全ての年代で「知っている」の方が高い割合となったが、20歳代(57.4%)と30歳代(57.7%)では、他の年代よりも低い割合となった。

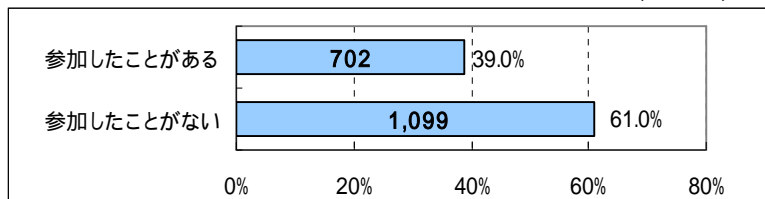
地区別で集計すると、全ての地区で「知っている」の方が高い割合となったが、大島地区では64.8%と他の地区よりやや低い割合となった。

あなたは、これまで市、地域振興会、自治会、自主防災組織等が開催している防災訓練に参加したことがありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,801/1,825

<集計結果>

「参加したことがない」が61.0%と約6割を占め、「参加したことがある」(39.0%)よりも高くなった。



<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに「参加したことがない」の方が高い割合となった。「参加したことがある」では男性が46.5%と、女性(32.0%)を上回っている。

年代別で集計すると、18~19歳から50歳代までは「参加したことがない」の方が高い割合となったが、60歳代と70歳以上では、「参加したことがある」の方が高い割合となった。「参加したことがある」は、年代が高くなるに従い割合が高くなる傾向にあり、18~19歳(14.3%)、20歳代(10.4%)、30歳代(18.5%)が比較的低い割合となった。

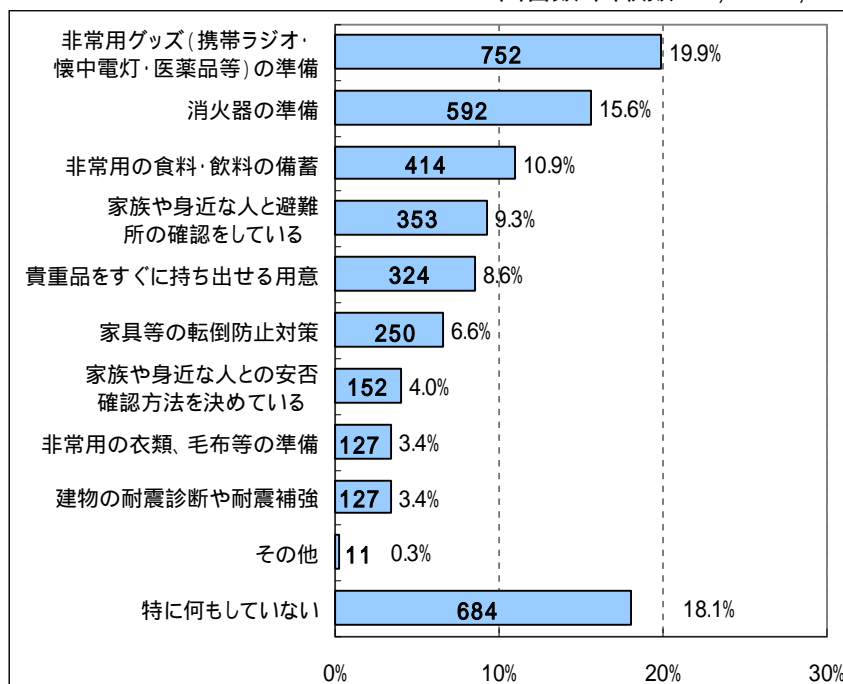
地区別で集計すると、「参加したことがある」では、大島地区が45.3%と最も高く、次いで小杉地区(41.7%)、新湊地区(37.1%)、大門地区(34.2%)、下地区(33.1%)と続く結果となった。

あなたが行っている災害に対する備えについて、当てはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,790/1,825

<集計結果>

「非常用グッズの準備」が19.9%と最も高く、次いで「特に何もしていない」(18.1%)、「消火器の準備」(15.6%)、「非常用の食料・飲料の備蓄」(10.9%)と続く結果となった。この設問の回答で、災害時の心配事として最も多かった「建物の倒壊・損壊」に関連する「建物の耐震診断や耐震補強」は3.4%と低い割合となっており、心配事と実際の備えとの乖離がうかがえる。



<属性による比較>

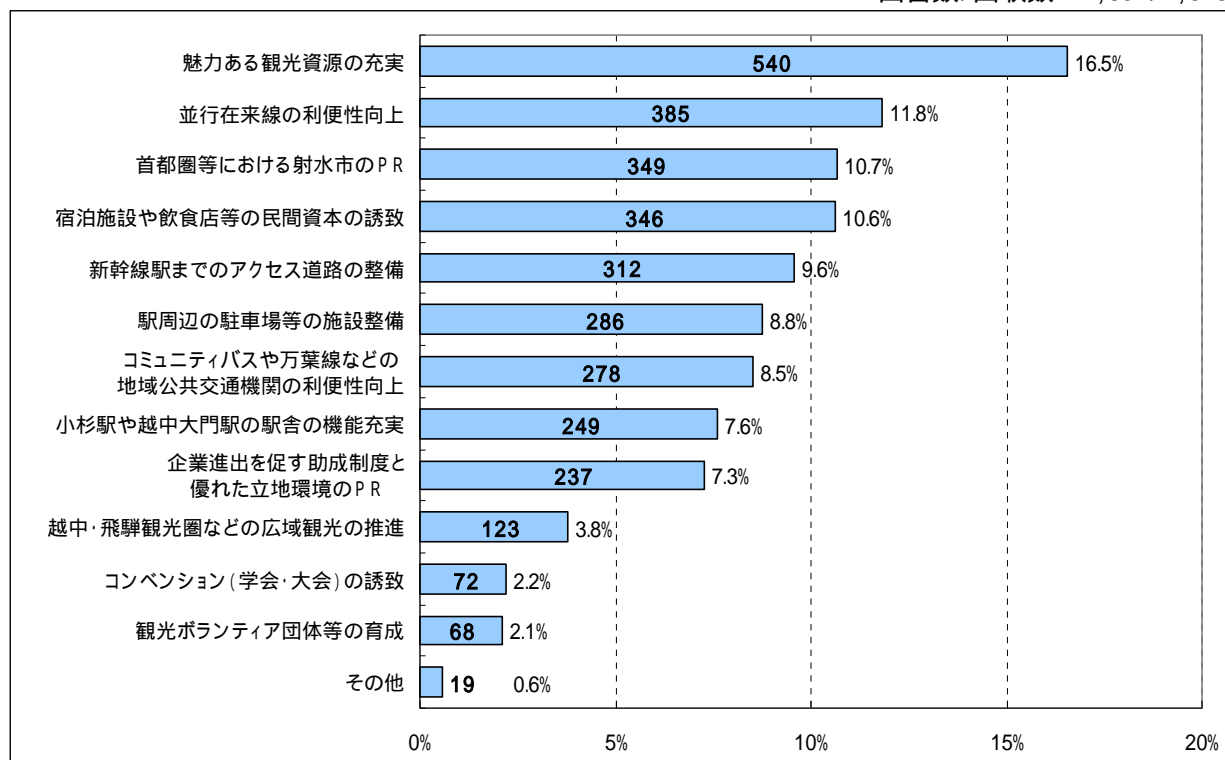
性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、18~19歳から30歳代までは「特に何もしていない」が、40歳代および60歳代から70歳以上では「非常用グッズの準備」、50歳代では「消火器の準備」がそれぞれ第1位であった。「特になにもしない」は、年代が高くなるに従い順位が下がる傾向にあった。

地区別で集計すると、地区によって第1位となる項目が変動するものの差は小さく、全体の傾向に違いはみられなかった。

問 1 1 北陸新幹線の開業が平成 2 6 年度末までに予定されています。射水市にとっては、観光や経済の振興など、多分野において好機であると捉えられますが、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを 2 つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,632/1,825



< 集計結果 >

「魅力ある観光資源の充実」が 16.5%と最も高く、次いで「並行在来線の利便性向上」(11.8%)、「首都圏等における射水市のPR」(10.7%)、「宿泊施設や飲食店等の民間資本の誘致」(10.6%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性、女性ともに「魅力ある観光資源の充実」が第 1 位であった。また、男性は「並行在来線の利便性向上」が、女性は「首都圏等における射水市のPR」がそれぞれ第 2 位であった。

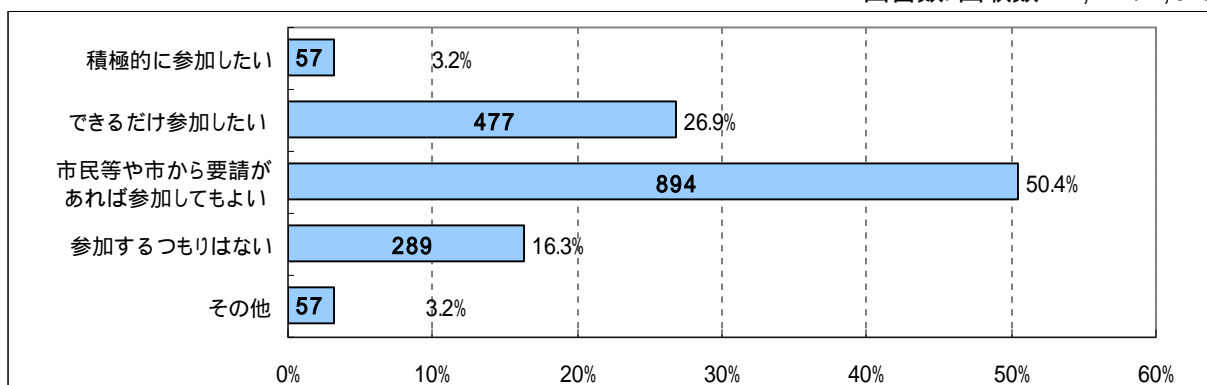
年代別で集計すると、18~19 歳は「小杉駅や越中大門駅の駅舎の機能充実」、20 歳代から 60 歳代は「魅力ある観光資源の充実」、70 歳以上は「首都圏等における射水市のPR」がそれぞれ第 1 位であった。また、「宿泊施設や飲食店等の民間資本の誘致」は年代が高くなるに従い順位が下がる傾向にあった。

地区別で集計すると、新湊地区、大門地区、大島地区、下地区では「魅力ある観光資源の充実」が、小杉地区では「並行在来線の利便性向上」がそれぞれ第 1 位であった。また、新湊地区では、「コミュニティバスや万葉線などの地域公共交通機関の利便性向上」が第 2 位であり、他の地区より高い結果となった。また、大門地区、大島地区では「小杉駅や越中大門駅の駅舎の機能充実」が第 3 位であり、他の地区より高い結果となった。

問12 本年4月に「射水市協働のまちづくり推進条例」が施行されました。この条例では、「市民が主役のまちづくり」の考えのもと、市民、地域振興会、市民活動団体及び事業者（以下、市民等とします。）と市が役割を分担し、協働のまちづくりを推進していくためのルールや仕組みを定めています。

これからのまちづくりでは、市民等の主体的な活動や市との協働が大切です。あなたは、射水市のまちづくりや、様々な活動に参加したいとお考えですか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。（SA）

回答数/回収数 1,774/1,825



< 集計結果 >

「市民等や市から要請があれば参加してもよい」が50.4%と最も高く、全体の半数を占める結果となった。また、「積極的に参加したい」(3.2%)と「できるだけ参加したい」(26.9%)を合わせると、約3割を占めている。

< 属性による比較 >

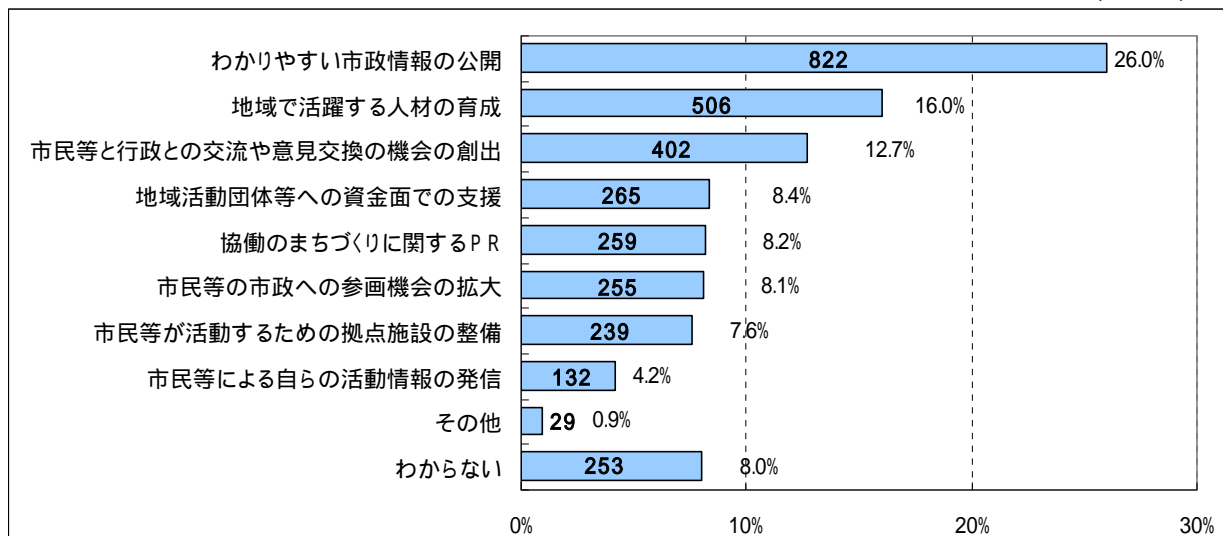
性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

年代別で集計すると、全体の順位や傾向は同様であったが、「市民等や市から要請があれば参加してもよい」は、18～19歳では66.7%と他の年代より高い割合となり、また70歳以上では39.2%と他の年代より低い割合となった。

地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

市民等と市とが協働してまちづくりを進める上でどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 1,765/1,825



< 集計結果 >

「わかりやすい市政情報の公開」が26.0%と最も高く、次いで「地域で活躍する人材の育成」(16.0%)、「市民等と行政との交流や意見交換の機会の創出」(12.7%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

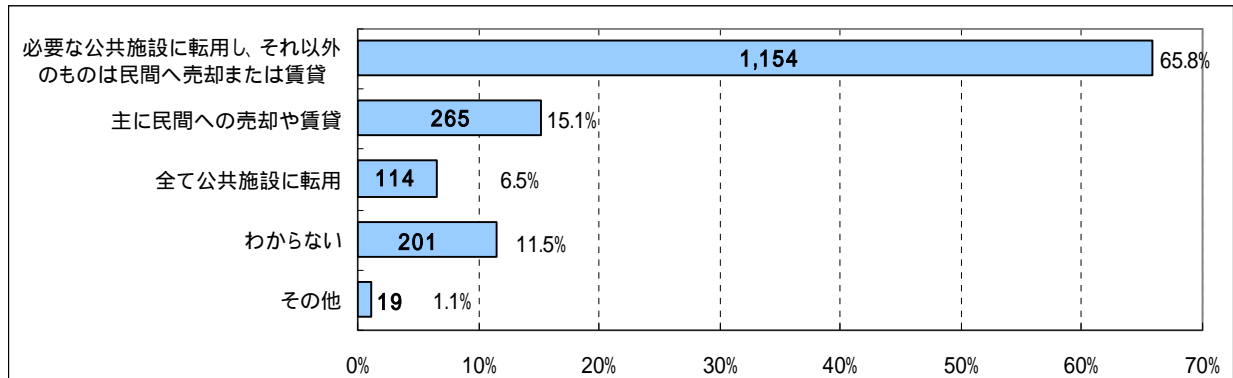
年代別で集計すると、全体の傾向は同様で、全ての年代で「わかりやすい市政情報の公開」が第1位であった。特に20歳代では33.2%と他の年代よりも高い割合となった。

地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかったが、下地区で「地域活動団体への資金面での支援」(13.9%)が他の地区よりも高い割合となった。

問13 射水市では、行財政改革を推進するため公共施設の適正な配置の実現を目指しており、今後重複施設等の統廃合を行い、不用となった跡地や跡施設の利活用を検討する必要があります。

どのような方法で利活用すべきだと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,753/1,825



< 集計結果 >

「必要な公共施設に転用し、それ以外のものは民間へ売却または賃貸」が65.8%と最も高く、全体の約3分の2を占める結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、「必要な公共施設に転用し、それ以外のものは民間へ売却または賃貸」は男性、女性ともに第1位であった。男性では「主に民間への売却や賃貸」が、女性では「わからない」がそれぞれ第2位であった。

年代別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

跡地や跡施設を利活用するにあたって、どのような施設や用途が望ましいと思いますか。お考えがある場合は具体的にご記入ください。

調査票 1,825 通のうち、553 名の方から自由意見の回答があった。

用途、対象年代、活用手法など、幅広い視点からの回答があり、中でも「子育て支援」や「高齢者福祉」、「スポーツ・健康増進」、「地域・住民活動」、「民間活用」、「防災」、「商業、アウトレット」などに関する施設への回答が多くみられた。

形態素解析の手法を用い、各回答から、望まれる施設や用途に関する単語の出現頻度を解析し、分野別に区分すると以下のとおりとなる。

子育て支援や子どものための施設・・・・・・・・219 件

「子育て支援」や「子ども」の施設へ多数の回答があった。「保育園」、「児童館」といった具体例のほか、「託児（預ける、預かる）」といった機能の要望についても回答があった。

高齢者福祉施設・・・・・・・・178 件

「高齢者」や「老人」に関連する施設について多数の意見があった。「介護施設」、「（特別養護）老人ホーム」といった具体例のほか、「独居老人」対策や、「高齢者の交流」についても回答があった。

スポーツ・健康増進施設・・・・・・・・128 件

「プール」、「グラウンド」などの具体例を示した回答が多岐に渡った。「健康（づくり、増進、維持）」についても多くの回答があった。

地域・住民活動施設・・・・・・・・66 件

「コミュニティセンター」、「地区」及び「地域」の活動に関連する回答があった。「サークル」、「生涯学習」、「ボランティア」についても多くの回答があった。

民間活用・・・・・・・・44 件

「民間」へ「売却」の回答が多く、「賃貸」などについても回答があった。

防災関連施設・・・・・・・・38 件

「災害時」に活用できる「避難場所」などの回答があった。

商業施設・アウトレット・・・・・・・・37 件

「アウトレット」や「ショッピングモール」、「商業施設」などの回答があった。

その他

文化・芸術施設（29 件）や交通関連施設（29 件）、企業・就労支援・人材育成（28 件）、住宅（16 件）に関連する回答があった。

公共・民間に限らず、「地域特性や必要に応じた整備」を望む回答（22 件）や市役所窓口の「時間延長」、「土日の利用」など、より拡張した窓口サービスを求める意見のほか、雨天や積雪時にも利用できる「屋内」や「屋根」のある遊び場を求める意見もみられた。

問14 射水市では、射水市食育推進計画に基づき食育に関する施策を総合的に推進しています。計画では「健康に過ごす人生」を基本目標の一つとしており、「食」を通じた健康生活を実践するための取組を位置付けています。あなたの「食」と健康に関しておたずねします。

あなたは朝食を食べていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)
回答数/回収数 1,767/1,825

<集計結果>

「毎日食べている」が88.5%と最も高く、全体の9割近くを占める結果となった。

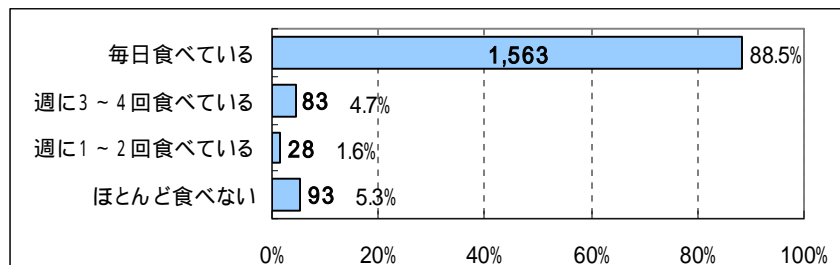
<属性による比較>

性別で集計すると、「毎日食べている」は男性、女性ともに最も

高い割合となり、女性が91.2%と、男性(84.6%)を上回っている。一方、「ほとんど食べない」では、男性が8.1%と、女性(2.9%)を上回っている。

年代別で集計すると、「毎日食べている」は全ての年代で最も高い割合となった。「ほとんど食べない」は年代が高くなるに従い低くなる傾向にあった。

地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



あなたは、こま型の「食事バランスガイド」について知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 1,757/1,825

<集計結果>

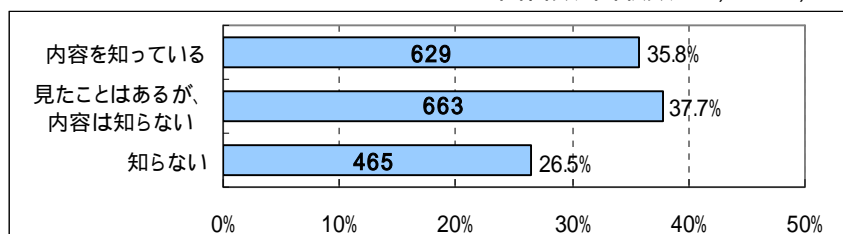
「見たことはあるが、内容は知らない」が37.7%と最も高く、次いで「内容を知っている」(35.8%)、「知らない」(26.5%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性は「知らない」が39.4%と最も割合が高く、次いで「見たことはあるが、内容は知らない」(38.1%)、「内容を知っている」(22.6%)と続く結果となった。一方、女性は「内容を知っている」が47.0%と最も割合が高く、次いで「見たことはあるが、内容は知らない」(38.4%)、「知らない」(14.7%)と、男性とは逆の結果となった。

年代別で集計すると、40歳代で「内容を知っている」が最も割合が高く、その他の年代では「見たことはあるが、内容は知らない」が最も高くなった。また、「知らない」は年代が高くなるに従い割合が高くなる傾向にあった。

地区別で集計すると、小杉地区では「内容を知っている」が最も割合が高く、その他の地区では「見たことはあるが内容は知らない」が最も高くなった。

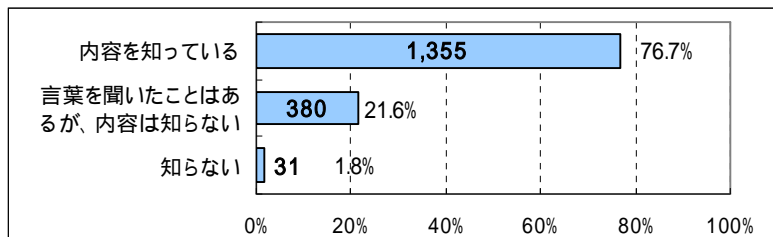


あなたは、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）について、その内容を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。（SA）

回答数/回収数 1,766/1,825

<集計結果>

「内容を知っている」が76.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」（21.6%）、「知らない」（1.8%）と続く結果となった。



<属性による比較>

性別と地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

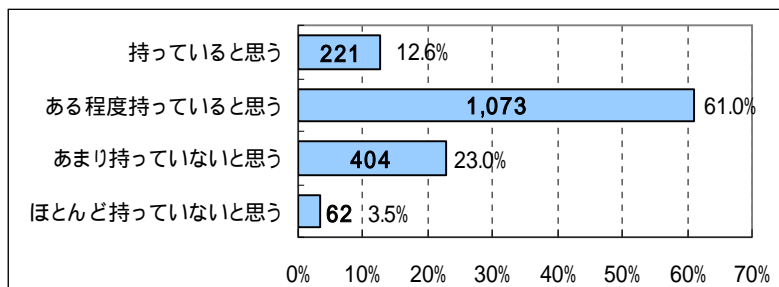
年代別で見ると、「内容を知っている」では18～19歳では57.1%、20歳代では68.2%と、他の年代に比べて低い割合となった。

あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。（SA）

回答数/回収数 1,760/1,825

<集計結果>

「ある程度持っていると思う」が61.0%と最も高く、次いで「あまり持っていないと思う」（23.0%）、「持っていると思う」（12.6%）と続く結果となった。



<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかったが、「持っていると思う」では、女性が15.3%と、男性（9.6%）を上回っている。

年代別で見ると、「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせた回答で、20歳代と30歳代が他の年代より低い割合となった。また、「持っていると思う」は、年代が高くなるに従い割合が高くなる傾向にあった。

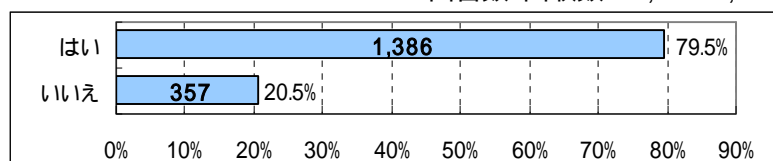
地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。（SA）

回答数/回収数 1,743/1,825

<集計結果>

「はい」が79.5%となり、全体の約8割を占める結果となった。



<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかったが、「はい」では、女性が84.6%と、男性（74.0%）を上回っている。

年代別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

5. 自由意見

問15 今後の市政に対するご意見をご自由に記入ください。

回収した調査票 1,825 通のうち、644 名の方から自由意見の回答があった。市政全般、医療・福祉・支援、産業・観光、交通、教育・文化・スポーツ、防犯・防災など、幅広い分野についての回答があり、中でも「行政サービス」、「行財政運営」、「庁舎」など市政全般に関する意見のほか、「子育て支援」や「雇用」などに関する意見が多くみられた。各意見の趣旨を整理し、分野別に区分すると以下のとおりとなる。

医療・福祉・支援・・・・・・・・・・120件

医療費などの支援や子育て世代の再就労、保育・託児のサービス拡充などの子育て支援事業への意見、高齢者福祉に関する意見が多くみられた。また、障害者福祉、市民病院などの医療機関の改善・充実、若者への支援、保育園の体制などへの意見がみられた。

産業・観光・・・・・・・・・・77件

企業誘致や雇用創出に関する意見のほか、大型商業施設・アウトレットモールの誘致や商業活性化、新湊大橋開通や新幹線開業を見据えた観光振興、工業・農業・漁業の振興、市内の魅力のブランド化などに関する意見がみられた。

交通・・・・・・・・・・74件

運行ルートや時間など、コミュニティバスの見直しに関する意見が多くみられたほか、車を使えない・持たない方々への公共交通機関の拡充に関する意見、冬期の除雪、通学路・歩道・道路の整備などに関する意見がみられた。

教育・文化・スポーツ・・・・・・・・・・30件

学校教育の充実、スポーツ施設の整備、人材育成、いじめへの対処、文化・芸術の活性化などへの意見がみられた。

防災・防犯・・・・・・・・・・21件

津波避難対策、避難所の充実、豪雨災害・水害対策、防災無線の整備、防犯対策に関する意見がみられた。

環境・・・・・・・・・・15件

住宅環境、エコ意識、ごみ処理、地球温暖化対策、エネルギー施策などへの意見がみられた。

市政全般・・・・・・・・・・397件

庁舎整備に関する意見、市税に関する意見、合併後の一体感に関する意見、行財政改革に関する意見が多かったほか、窓口サービスの改善・拡充、住民との意見交換や情報公開、まちづくりのイメージ、職員の地域活動への参加などに関する意見がみられた。

その他・・・・・・・・・・68件

今回実施した市民ニーズ実態調査に関する意見などがみられた。

